

令和2年第2回那須烏山市議会3月定例会（第5日）

令和2年3月3日（火）

開議 午前10時00分

散会 午後 4時28分

◎出席議員（17名）

1番	青木敏久	2番	興野一美
3番	堀江清一	4番	荒井浩二
5番	福田長弘	6番	村上進一
7番	矢板清枝	8番	滝口貴史
9番	小堀道和	10番	相馬正典
11番	田島信二	12番	渋谷由放
13番	久保居光一郎	14番	沼田邦彦
15番	中山五男	16番	高田悦男
17番	平塚英教		

◎欠席議員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	川俣純子
副市長	國井豊
教育長	田代和義
会計管理者兼会計課長	高濱裕子
総合政策課長	石川浩
まちづくり課長	佐藤博樹
総務課長	福田守
税務課長	澤村誠一
市民課長	皆川康代
福祉事務所長兼健康福祉課長	水上和明
こども課長	川俣謙一
農政課長	大鐘智夫
商工観光課長	小原沢一幸
都市建設課長	小田倉浩

上下水道課長

佐藤光明

学校教育課長

神野久志

生涯学習課長

菊池義夫

◎事務局職員出席者

事務局長

大谷啓夫

書記

菊地静夫

書記

藤田真弓

○議事日程

日程 第 1 議案第1号～第8号 令和2年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道
事業会計予算について ※質疑～委員会付託

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前10時00分開議]

○議長（沼田邦彦） おはようございます。傍聴席の皆様方には、早朝よりお集まりをいただきまして、ありがとうございます。

ただいま出席している議員は17名です。定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

◎日程第1 議案第1号～第8号 令和2年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道事業会計予算について ※質疑～委員会付託

○議長（沼田邦彦） 日程第1 議案第1号から議案第8号までの令和2年度那須烏山市一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、熊田診療所特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算、下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算の令和2年度当初予算8議案を一括して議題といたします。

本件については、去る2月25日の本会議において提案理由の説明が終了しております。

直ちに質疑に入りますが、所管の委員会に関する事項は、委員会審査において質疑されるようお願いいたします。

また、議会運営に関する申し合わせにより、質疑の持ち時間を答弁を含めて30分以内としております。30分を超えましたら終了を求めますので、御了解願います。

質疑、答弁は、簡潔明瞭にされるよう、この際申し添えておきます。

それでは、これより質疑に入ります。

1番青木敏久議員。

○1番（青木敏久） おはようございます。

通告に基づきまして御質問させていただきます。私の質問は、いずれも予算概要から質問させていただきます。

まず最初に、地域おこし協力隊事業費、これについてですが、地域外の人材を積極的に招致し、地域活性化を推進する事業目的の進捗状況等について御質問いたします。

次に、特殊詐欺撃退機器設置補助事業費、この機器設置の対象者、数量等について概要の御説明を願いたいと思います。

続きまして、観光協会支援事業費、これについてですが、研修でなくコンサルティングにした理由、またコンサルティング料、単年度の拡充なのか、見込み等についてお伺いいたします。

次に、同じく3ページに当たりますJR烏山線利用促進事業費、これによりますと、烏山線

の日の制定検討を行うとございますけれども、烏山線の日の制定による利用向上について具体的に何をどうするのかお伺いたします。

4 ページの関係人口創出事業費、これについてですが、特定の都市との交流、また関係自治体職員との連携、調査分析を委託とございますけれども、これについて具体的に御説明願います。

次に、シティプロモーション事業費、SNS等による情報発信強化策について御説明いただきたいと思います。

続きまして、都市農村交流事業費、将来的に移住促進や関係人口創出の実現を図るとございますけれども、日帰り、効果、期待値について御説明いただきたいと思います。

続きまして、13 ページに当たります水害対策訓練経費、この新規事業の概要について御説明いただきたいと思います。

また、同じくホームページリニューアル業務委託費、新規事業の概要について御説明いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） それでは、まちづくり課関連のものについて一括してお答えいたします。

まず、概要版2 ページ、地域おこし協力隊事業費の内容でございます。

これにつきましては、1 期生は、昨年の10月いっぱい、3名の者が既に卒業しておりますが、1名の者はキッチンカーで市内の、また市外に向けての営業活動をしているところでございます。もう1名に関しましては、市内に勤めながらフリーライツということで、ライティング等を含めた活動を今しているところでございます。もう1人につきましては、市内にとどまることはできず、今東京に住んでおりますが、東京の中で逆に那須烏山市のアピールをいただいているというような状況でございます。1 期生につきましては、今後も同じような活動をしていく予定になっております。

2 期生として今年度募集を2名、観光行政をメインとした地域おこし協力隊を募集していただきましたが、1名につきましては、3月1日から採用いたしまして、既に活動しているところでございます。今後につきましては、観光プロモーションを担うため、商工観光課、また観光協会とともに、地域の活性化に向けて地域おこし協力隊は活動する予定になっております。

なお、もう1名の者につきましては、現在まだ採用されておりませんので、引き続き募集をかけている状況でございます。

続きまして、概要版3 ページ、JR 烏山線利用促進事業費でございます。

これにつきましては、直接的な予算計上はございません。市民の烏山線に対する熱意の上昇、そういったものが感じられないと存続は厳しい問題であると、まちづくり課として考えておりますことから、烏山線に対する愛着心の醸成を図る、そういった必要があるということで、きっかけとしては、烏山線の日という制定を検討し、今後、利用向上につなげていきたいと考えておるところでございます。具体的な内容につきましては、新年度になって検討していく予定でございます。

4 ページの関係人口創出でございます。

特定の市、関係自治体職員、こういったフレーズになってきますと、防災協定を締結している東京都の豊島区、埼玉県のと光市などと都市農村交流を積極的に継続し、展開していくというものになってございます。そのほかに、宇都宮大学が地域プロジェクト演習というものを今事業としてやっております。それは、各自治体の現場に出向いて地域課題を探って、地域活性化に向けた取り組みを行っていくというような事業でございますが、それに那須烏山市の民間企業、NPO団体が関わっておりますことから、そういった学生、または地域の民間団体と一緒に関係人口づくりに向けて取り組んでいくという業務委託を今検討しているところでございます。

4 ページのシティプロモーション事業費でございます。

これにつきましては、SNSによる情報発信ということで、烏山駅といえば七福神、七福神といえば7名、そういった特殊能力を持った、インスタグラム等を駆使する能力を持った7名の市民等を活用しながら、情報発信をしていくということに対する事業を考えてございます。市内の何気ない風景、何気ない楽しみ、そういったものを市内向けに発信することによって、結果的に市外に拡散していくというようなところをもくろんでいるところでございます。

以上で、まちづくり課関連は終了いたします。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） まず、特殊詐欺撃退機器補助事業の概要について御説明します。

オレオレ詐欺等の不審電話や迷惑電話などを防止するために、電話をかけてくる相手に通話内容を記録するなど音声を発しまして通話内容を録音する機能や、迷惑電話番号から電話の自動判別をする機能などを有する電話等の購入を助成しまして、詐欺被害を防止するものでございます。

補助の対象者としましては、65歳以上の独居世帯、または65歳以上の方のみで構成される高齢世帯の世帯主の方を対象としております。補助対象経費としましては、市内業者から購入する特殊詐欺撃退機器購入費、または取り付け費の2分の1以内としまして、1件最大

5,000円の補助を考えております。一応40件分で20万円を計上しているところでございます。

次に、観光協会支援事業費について御説明します。

まず、研修ではなくコンサルティングにした理由でございますが、以前から研修への参画については何度も促してきたところでございますが、研修が業務期間中ということもあって、なかなか多忙につき時間がとれなく、参加できなかった現状がございまして、今回民間経営の手法を身につけられるよう、コンサルティング事業として支援するものでございます。

コンサルティング料につきましては、来年度予算の増額分の中で150万円程度は見えております。そちらについては、令和2年度の事業として取り組みたいと考えておりまして、市としてもコンサルティング事業に参画して、積極的に支援していきたいと考えております。こちらは単年度の拡充なのかというところなのですが、一応今回観光協会の機能強化というのは、観光振興ビジョンに位置づけておりまして、本年度、令和元年度は、現状の分析と検証としまして、栃木県よろず支援拠点と観光庁から招致した専門家の方に、観光協会の現状分析をしていただいたところです。それらを踏まえて、令和2年度につきましては、それらの課題の解決の方策や観光プロモーションの方策というのを検討する予定でございまして、翌年3年度まで、その課題解決と観光プロモーションというのをコンサルする予定でございまして、令和4年度には運用開始ということで、観光協会への支援というのは、令和元年度をベースぐらいに戻していきたいと考えております。効果の見込みなんですけれども、令和2年度につきましては、課題解決に向けまして、観光協会の理事を含め、職員の方々がみずから問題解決に関して考えていくという効果を期待しているところでございます。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 都市農村交流事業についてお答えいたします。

こちらは、市が進めます移住促進と関係人口創出のための事業の1つで、農政課で担当しているものでございます。内容としましては、豊島区交流事業のいなか川遊び、こちらは荒川南部土地改良区の協力のもと実施しているものでございますが、さらに交流人口をふやすために、令和2年度につきましては、市内のいろいろなところを巻き込みまして、複数回の開催に向けて予算化しているものでございます。毎年区民と市民を合わせまして100名程度で実施しているんですけれども、いろいろなところを巻き込むことによりまして、関係人口もふえていくということで、取り組んでまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） 私のほうで、予算の概要書13ページの水害対策訓練経費50万円の説明を申し上げます。

こちらは、昨年10月、台風19号によりまして、うまく作動しなかった城東の排水樋管、城東の排水ポンプを実践しながら訓練する費用を新たに計上させていただきました。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） 最後になります。ホームページリニューアル委託業務でございます。

ホームページにつきましては、先日の荒井議員の一般質問にもお答えしておりますが、令和2年で契約期間の5年が切れることから、今回全ての画面、デザインを含めた全面的なリニューアルを行うという予定をしているところでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 1番青木敏久議員。

○1番（青木敏久） では、再質問させていただきます。

シティプロモーション事業費、この御説明の中で、七福神として特殊能力を持った人たちに情報発信してもらおうと。七福神といいますと、例えば若年層の方は、七福神といっても、なかなかわかりづらい面もあるんですが、この7名が情報を発信するに当たって、例えば女性が入ったときには弁財天になるとか、誰々が黒黒さんになるとか、布袋さんになるとかという、そういう能力というか、内訳というか、ネーミングというか、そこら辺の検討に入られているのかどうか、これについてお伺いいたします。

続いて、もう一つ。都市農村交流事業費、これなんですけど、複数回100名前後を見込んでやっているということなんですけど、将来的な移住促進関係人口の創出実現なんですけれども、日帰りということなので、例えば将来的に移住になると古民家に泊まっていただくなり、例えば那須烏山市本市の農産物を、豊島区だったら豊島区に定期便として送られているのかどうか、そういう検討をされているのか、また、豊島区さんにおかれましては、お隣の那珂川町さんとも観光交流都市協定を結んでいられて、そうしますと、私どもも地域間連携ということでもやっていますでしょうし、また、そうしますと、お隣でもそういう協定を結んでいるとなると、地域間競争にもなりますので、その辺の那珂川町さんとの兼ね合いといいますか、交流事業が本当に生きてくるのかどうか、その辺の整合性というか、それについてお答えいただきたいと思います。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 七福神に伴う7名というところは、非常に重要になってく

るんですが、それぞれの駅の神様とどう関連させていくかということについては、現在できるだけそれがかわられるようなネーミングができるよう、指示はしているところでございますが、今の段階では検討中でございます。

なお、男性か女性かという話になってしまいますと、非常に限られてしまいますので、性別にはこだわらず、おもしろいようなかわりができるよう、そしてフォロワー数が多いインスタグラム等が非常に得意な方を今チョイスしてございます。その中には英語が得意な方等も含まれておりますので、海外向けの発信も、市内の状況を通しながら拡散していくのではないかと考えております。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 都市農村交流事業についてお答えいたします。

農産物等につきまして、今後豊島区との連携をお考えかということですが、まず、豊島区の方に、初めて参加される方につきましては、那須烏山市の魅力を知っていただくというのがまず第一で、また、そういった魅力を感じてくれた方が、また那須烏山市に今度は個人で来ていただきたいということを見込んでおります。農産物の豊島区とのというお話につきましては、今後そういったことも1つのアイデアと捉えていきたいと考えております。

それと、那珂川町との兼ね合い、そういったことで生かしていけるのかということですが、広域的にこういった取り組みをするのは必要だとは思いますが、今各種いろいろなツーリズムがありますので、そういった中でもツーリズムの1つとして捉えるのもありかとは思いますが、今後研究をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○1番（青木敏久） 了解しました。

○議長（沼田邦彦） ほかにございませんか。

2番興野一美議員。

○2番（興野一美） おはようございます。まず、概要版から質問させていただきます。

13ページの新生児聴覚検査費用助成経費とロタウイルスワクチンの接種費用助成経費について、これは新規事業だと思うんですけども、現物給付なのか、または全額助成か、全額助成でなければ、その経費と補助金の額もあわせて伺います。

同じく13ページの映画「二宮金次郎」、これは昨年と同様なのか伺います。

同じく13ページの先ほど青木議員が質問したんですけども、水害対策訓練経費、城東の排水樋門の訓練と言われましたけども、確かに訓練は大事だと思います。しかし、水がないときに動くのは当たり前だと思うので、動かなかったときに代替の排水の水中ポンプ、そういう補助的な訓練も含めたほうがいいのではないかと思いますので、お伺いいたします。

概要版の21ページの児童手当給付費と児童扶養手当給付費、1,600万円と2,300万円の減額なんですけども、なぜこんなに多いのかお聞きします。

それと予算書の67ページ、八溝そばブランド向上支援事業、昨年350万円からことしは20万円になった理由をお聞かせください。

同じく67ページの新規就農総合支援事業525万円の内訳と、支援事業者の人数、これもお願いします。

同じく予算書の111ページ、大松・富谷・八溝大橋維持管理費負担金が、昨年300万円からことし30万円になった理由をお聞かせください。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 概要13ページの新規経費内容にあります新生児聴覚検査費用助成経費の支給方法ですが、こちらは現物給付となります。上限が5,000円となりまして、初回検査の5,000円、初回検査で異常が認められた場合、確認検査というものがありますが、そちらも5,000円となります。

次に、ロタウイルスワクチン接種費用助成経費の支給方法ですが、こちらは令和2年4月2日から令和2年7月31日までに生まれた子供につきましては、償還払いとなります。令和2年8月1日以降に生まれた子供につきましては、現物給付になります。こちらは上限3万円となっております。

次に、概要の21ページ、児童手当給付費1,600万円もの減額はなぜかということですが、令和元年度の児童手当給付費決算額は約3億1,600万円になると見込んでおります。令和2年度は、令和元年度と比較しまして1カ月当たり25人程度の該当者が減少することを見込んで、3億1,302万円を見込んでおります。精査した結果、1,600万円の減額となりました。

次に、児童扶養手当給付費2,300万円もの減額はなぜかということですが、生活困窮者自立支援法の改正により、通常12カ月分の児童扶養手当の予算計上であるものが、令和元年度のみ15カ月分の額が必要でありました。令和2年度で通常に戻り、12カ月分となったことによるものです。したがって、令和元年度が特別に多い予算額となっております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 映画「二宮金次郎」の業務委託費の55万円についてお答えいたします。

内容については、昨年上映いたしましたものと同様でございます。今年度は、12月14日

に上映会を開催いたしまして、市内外から250名を超える来場者がございました。令和2年度につきましては、烏山中学校、南那須中学校の全校生徒を対象として、上映会を開催する予定で進めております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） 水害対策経費なのですが、先ほど青木議員のときに説明不足で申しわけありません。具体的な訓練の内容ですね。こちらは、夏場に実際に雨が降ったという想定で、ドラム缶で水を大量に利用して、水を流して実践しながらの訓練という経費でございます。今御指摘のポンプが動かなくなったらどうなのかというのは、これは今回台風19号以降に発足しました那珂川の緊急プロジェクトの対策協議会のソフトのメニューになっております。こちらは那須烏山市だけの問題じゃなくて、那珂川沿線に同じような状況がありますので、その中で対策方法を国土交通省と連携して現在策定している最中でございます。

続けて、申しわけありません。

予算書の111ページ、大松・富谷・八溝大橋の維持管理費が昨年比べて大幅に減額になった理由でございますが、御存じのように、こちらの3つの橋につきましては、那珂川町が道路管理者ということで、私どもが2分の1の負担金を払って運営していますが、昨年は橋梁の照明工事の更新工事とか補修工事があるって、予算書のとおり300万円計上しております。ただ、今回の3月補正ということで、こちらを200万円減額しております。こちらは補助の関係で、橋梁の補修工事が予定どおりいかなかったということで、最終的には当初予算が300万円ですが、200万円減額して100万円という結果になってしまっております。令和2年度の予算につきましては、橋梁の補修工事の見込みがないものですから、通常の橋の維持管理として、主に橋の照明の電気料の負担金ということで、橋梁の補修工事が無いということで、その差額が今回生じております。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） まず、八溝そばブランド力向上支援事業費についてお答えいたします。

昨年の台風の被害によりまして、第10回八溝そば街道そばまつり、こちらを予定していたんですけども、令和3年に延期となったために、そちらの運営委託料が全て減額となっております。また、八溝そば畑作推進交付金、こちらにつきましては、昨年より30万円減っているんですけども、畑作についての実績が今年度は余り思わしくなかったために、当初につきましては予算を減額とさせていただいております。途中、希望者がふえた場合には、当然の

ことながら補正で対応させていただきたいと思っております。

続きまして、新規就農総合支援事業費でございます。まず内容から説明させていただきたいと思えます。

こちらの事業は2つの事業でありまして、次世代人材投資事業、こちらは以前の青年就農給付金というものでございます。こちらは新規就農者に対しまして5年間補助金を交付するものでございます。現在継続で1組の御夫婦、それと継続で1名の方、昨年から1名新規という扱いで、1名の方が今こちらの補助の交付を受けております。それともう一つ、市農業就農時支援制度給付金というものがございます。こちらは、農業施設整備にかかる費用の一部を助成するものと、親元就農に対しまして新規就農祝い金を交付するものでございます。農業施設整備にかかる費用につきましては、現在2名の方が受けております。それと親元就農に対しまして1名の方が受けております。

新規就農の予定者ということでございますけれども、ことしに入りまして1名新規就農の方がいらっしゃいます。令和3年度に向けましては、今のところ新規就農のそういった方が出てきておりませんので、これからお声かけなり、事業の展開を進めてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 2番興野一美議員。

○2番（興野一美） それでは、再質問させていただきます。

ロタウイルスワクチン、7月からは現物給付ということなんですけれども、小児インフルエンザワクチンの接種は申請だと思うんですけれども、申請は両親が勤めていたりすると大変なので、申請しなくたっていいやということも多いと思うので、なぜインフルエンザに関しては現物給付にならないか質問させていただきます。

それと、八溝そばブランド力向上支援事業、昨年新しくできたと思うんですけれども、畑作のそばに関しては、ふえた分に対しての助成だと思うんです。ですから、これは以前のように、そばを使った人とお店の人、それに戻したらいいと思うんですけれども、そのほうがそばの消費拡大にはつながると思うんですけれども、それに関してお答えをお願いします。

それと、橋の維持管理費なんですけれども、30万円に、補修がなくなったと言うんですけれども、富谷橋は結構通るんですけど、随分傷んでいると思うんですけれども、いかがでしょうか。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） インフルエンザの件でよろしいですか。

インフルエンザは、一応令和2年度からは現物給付の予定をしております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 八溝そば畑作推進交付金のお話ですけれども、市といたしましては、八溝そばは、これからメジャーなものにしていきたいという気持ちもあります。安定した供給を進めていくということのほうがまず重要ではないかと考えて、こちらの交付金をしております。こちらは始めたばかりですので、我々の努力も足りなかった部分はあるんですけれども、畑作を広げることによりまして、安定した需要と供給のバランスをしっかりとっていききたいと考えておりますので、こちらの交付金を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） それでは、富谷橋についてお答え申し上げます。

こちらは以前にお話ししましたが、橋梁点検という人間でいえば健康診断みたいな点検で、5年に1度やっていて、こちらは先ほど申しましたように、那珂川町が道路管理者でありますので、那珂川町で実施しております。言葉があれなんですけど、まだそれほど、点検の結果、ランク的にまだ2段階ということで、1、2、3、4段階とありまして、3、4になると非常にやばい状態なんですけど、まだ2段階ということで、うちのほうの下野大橋もそうなんですけど、まだ国の交付金の対象にならないので、今その辺を猶予しておる段階でございます。今の方針ですと、もっとステージが進んでいる橋梁の補修を先にやっているということなものですから、結果的にその次の段階ということで、補修計画を今策定しておると私どもは聞いております。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 2番興野一美議員。

○2番（興野一美） もう一度八溝そばについてなんですけども、確かに面積をふやすというのは重要だと思うんです。でも、今つくっている面積のふえた分に対してなので、何町歩もふやすというのはなかなか至難のわざだと思うんですよね。どうしても、そばをつくっている団体というのは限られている団体しかないんで、機械を持っている、興野のそば組合はコンバインも持っていますから、ほかのそばの人にも頼まれてやっているみたいなんですけども、どうしたってふえた面積、1年例えば1町歩ふやして補助金をもらっても、次またふやさないと補助金はもらえないわけなので、それよりも新しい、確かに面積をふやすのは重要かもしれないんですけども、使ってもらうのも重要だと思うんです。ですから、この事業はこの事業で置いておいても、前の使ってもらったときの補助金を復活させてもらいたいなという気持ちが強いんです。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） ただいまの御意見は、農政課で御意見として伺わせていただきましたと思います。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 3番堀江清一議員。

○3番（堀江清一） 私は、全て予算書から質問したいと思います。

まず、71ページ上のほう、元気な森づくり推進事業費ということなのですが、具体的に場所というのはどこになるのか、またその活動内容というか、整備内容というのはどのようにしているのか、まずお伺いします。

同じページで、下のほうに企業誘致事業費となっております。企業誘致はどのような内容でやっているのかを具体的にわかればお願いしたいと思います。

続きまして、75ページ一番下に、ふれあいの道づくり事業、予算なので、ことし具体的に申請されている場所があるのか、あるのであれば、どこの場所なのかを具体的にお願いできればと思います。

続いて、89ページ下のほう、文化財調査費という項目がありますね。これもどの文化財を調査するのか、どのような調査の仕方なのか具体的にお願いできればと。

同じく一番下に、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費とありますが、管理の内容はどのようにされているのか。

それと109ページに、先ほど来出ております豊島区交流事業交付金というのが一番下のほうにあると思うんですが、具体的にどんな内容なのかを、わかればお願いします。

それと110ページ中段ちょっと上なんですけど、多面的機能支払交付金、これが減額になっておりますね。なった理由というのをわかればお願いします。

とりあえず以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） それでは、初めに農政課関係のお答えをさせていただきます。

1つ目の元気な森づくり推進事業費、こちらはどの場所でどのような活動をという御質問でした。こちらの事業につきましては、2つの事業を行っております。まず、1つ目は、里山林整備事業です。地区といたしまして、鴻野山、田野倉・大金地区、興野地区の3カ所を行っております。内容としましては、通学路の安全安心や野生鳥獣被害軽減のための刈り払いを行っております。

2つ目ですけれども、里山林管理事業、こちらは里山林整備事業を行った地区、こちらの地区を引き続き管理をしていくものの事業です。地域保全、通学路の安全安心や野生鳥獣被害軽

減のための刈り払いを行っているものでございます。参考までに、刈り払いにつきましては、森林組合に委託しているものでございます。

続きまして、2つ目の豊島区交流事業交付金について、具体的に何に使うのかということです。先ほどの答弁と重複するんですけども、交流人口をふやすことを目的に、荒川南部土地改良区の皆様にお願ひしまして、いなか川遊びを実施しております。川遊びを主体にいたしまして、ジャガイモ掘りとか、あとカブトムシをとったり、田舎でしかできないそういったことを実施しております。

3つ目です。多面的機能支払交付金、なぜ減額になったのかということでございますが、まず、幾つかこちらは団体が、保全会がありまして、藤田地域資源保全隊が解散をいたしております。やはり高齢化になってしまひまして、なかなか動きがとれないという理由でして、こちらの保全会は約400万円実施しておりましたので、そちらが減っております。それと反対に、新しく熊田西農地を守る会、こちらが新設されております。こちらが約100万円の事業費でありますので、その差額の約300万円の減ということで御理解いただきたいと思ひます。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 予算書71ページ、企業誘致事業費について御説明いたします。

こちらは、企業立地奨励金等の補助金の額がほとんどを占めておひまして、1億8,498万5,000円がそうでございます。そのほか主に首都圏で行われる企業の展示会や立地説明会等に出向き、誘致活動をする際の旅費を10万円ほど計上しているところでございます。企業誘致事業としてどのようなことをということでございますが、予算の執行を伴わないところでは、企業用地として利用できる一定規模以上の遊休地等を広く市内に求めまして、これをデータベース化しまして、事業用地情報登録制度を運用しているほか、市内に立地を求める企業があつたところには、適宜相談に応じまして、要望に沿った適地を探したり、関係する市内事業者を紹介したりしているところでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） それでは、予算書の75ページ、ふれあいの道づくり事業について御説明申し上げます。

こちらは地元の愛護会が事業主体となりまして、生活道路を整備して、その一部を私どもで費用負担するという事業なんですけども、具体的に地元の負担が結構大きな金額になりまして、相

談はたくさん受けているんですが、現実的に難しいところとかがありますので、予算は過去の実績とか、これから推定して、いわゆる枠どりで計上させていただきました。内容につきましては、今回の予算成立後、地元の方とよく話し合いをして、箇所づけ等は予算成立後決めたいと思います。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 文化財調査費についてお答えしたいと思います。

今進めております遺跡の調査は、烏山城跡でございます。もう1カ所、長者ヶ平官衙遺跡がございます。その予算がこの文化調査費の中には入っております。内訳といたしましては、1つには、発掘及び整理する作業員の方の報償費、また烏山城跡の確認調査の、業務委託で行っておりますので、その予算。これは調査を平成28年から進めておりまして、今年度でおおむね終了となりますので、今後報告書の作成に入ります。そういった関係でいるんな資料の作成は、業務委託をしながら進めてまいることになります。資料の中身については、遺物の整理であったり、平面図、いわゆる縄張り図とって、現在のお城の状態をあらわした図面なんですけども、そういったものを合成したり、そういった資料の作成になる中身でございます。

それから長者ヶ平官衙遺跡保存管理費でございますが、管理の内容は、鴻野山の広域農道のちょうど頂上あたりになると思いますが、市有地がございます。ちょうど砂利で道路沿いに多目的広場ということでございます。あわせて竹林がまたございます。そういった場所の草刈りの予算でございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 3番堀江清一議員。

○3番（堀江清一） 71ページ、元気な森づくりに関しては了解しました。

それと、2つ目の企業誘致に関してですけれども、企業誘致にいろいろ御苦労されていると思いますが、実際のところ、企業を誘致するに当たって、ふさわしい土地というまとまった土地とか、そういうのが今現在那須烏山市にあるのか、また、それを造成するような考えでいるのか、工業団地として新たにそういうところまで発展させていくのか、お考えがあればお伺いします。

あと、ふれあいの道づくりに関しては了解しました。文化財調査費も了解です。

あと、長者ヶ平の管理なんですけど、草刈りが主だということだと思います。長者ヶ平に砂利を敷いた駐車場があると思うんですけど、常時鎖がかかっていて、ほとんど利用されていないと思われるんですね。これはそこを管理する人のための駐車場なのか、一般の人が使える駐車場なのか、それも不明なので、それはどうなっているのかお伺いします。

それと豊島区の交流事業、荒川南部土地改良区に依頼するというので、荒川南部土地改良区に補助するという形のお金なのかということをお伺いしたいと思います。

最後の多面的機能交付金、藤田地区が高齢で撤退したということをお説明されたと思うんですが、実際のところは、地区の内紛でばらばらになってしまったと私はお伺いしております。何を言いたいかということ、多面的機能交付金をフルに活用して、那須烏山市全体の農地、農道がきちっと整備されることを自分は切に思っておりますので、機能交付金に関しては、市として、全地域にさらにPRして使ってもらえるようにして、有効な交付金ですから、ぜひとも進めていただきたいという思いがあります。これは答弁は結構ですので、よろしく申し上げます。以上です。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 企業誘致に当たってふさわしい土地はあるのかというところでございますが、現在、事業用地等情報登録制度では11件が登録されております。こちらは毎年登録地について広く市内に求めているところでございますが、なかなか適地としてふえないのが現状でございます。また、工業団地の計画はあるかということなんですが、現在のところ今の2つの工業団地はあるんですが、その他の工業団地については、計画はないところでございます。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 長者ヶ平の管理の部分でございますが、現実、平成21年だったですかね、国の指定を受けてから。今は状況がストップしているような状況かと思いますが、いろんなイベント、あるいは見学会を年に数回予定いたします。そういった際には、多目的広場は活用いたしますが、常時連絡があった際には、鎖とか、やっぱり不審な方とかにとめてもらっても困りますし、そういう部分で管理を事務局でしておりますから、そういうイベント、あるいは一般の方が見学に来た際に案内するというようなやり方で今進めております。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 豊島区交流事業交付金につきまして御質問いただきました。

こちらにつきましては、補助金というより、自由度があります交付金で支給させていただいておりますので、土地改良区の皆様が自由に使っていただいて、いろんなアイデアで運営をしていただいております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 3番堀江清一議員。

○3番（堀江清一） 企業誘致に関してですけれども、地べたがないところに、来てくださいますと言っても、多分魅力は感じないだろうと思います。企業誘致に本腰を入れるのであれば、工

業団地をつくるぐらいの勢いで考えていただければと思ひまして、答弁は結構です。

私は以上で終わります。

○議長（沼田邦彦） ここで暫時休憩いたします。再開を午前11時とします。

休憩 午前10時51分

再開 午前11時00分

○議長（沼田邦彦） 休憩前に引き続き会議を開きます。

質疑を続けます。

4番荒井浩二議員。

○4番（荒井浩二） 私からは、全部概要書から質問させていただきます。

まず1件目が、概要書1ページにある一番下の通院支援事業費、こちらの対象の基準及び送迎手段というのはどういったものが含まれるのか、バスだったり、タクシーだったり、デマンドだったり、あと、「運賃相当額を支援し」とあるんですが、料金算定に関して、距離だったり上限というものはあるのでしょうか。

あと、次に、概要書同じく1ページの感染症予防事業費、こちらは県内初の取り組みとして、成人式に前倒しして募集を行ったと思うんですが、これは2月、先月までだったと思うんですが、実績について教えてください。

続きまして、概要書の2ページ、新学習指導要領対応デジタル教科書導入事業費、こちらの事業導入に伴う教員の研修だったりというものは、どのように行われるのか、もしくは検討されているのか。あと、この導入事業費の中に、デジタルデバイスというか、タブレットだったり、実際の機器の購入費用というものは含まれるのでしょうか。

続きまして、同じく概要書の2ページの文化財調査費、こちら先ほど堀江議員からも質問がありましたが、私のほうでは、先ほど烏山城の城跡の調査というのが本年度内に終了するというので、課長から御説明があったんですが、私は史跡を観光地として生かしたほうがいいんじゃないかと思っているんですね。特に2022年に国体、これは計画が間に合うかというのは、ちょっと不透明なところはあるんですが、国体の開催に合わせまして、環境負荷と持続可能性を考慮した形で、健康増進を目指したウォーキングトレイルコースみたいなのをつくったらいいんじゃないかと個人的には思っているんですけども、史跡を観光地として生かすための検討の内容について教えてください。

続きまして、概要書3ページの地方創生移住支援金事業費、こちらは今定例会の中でも説明がありましたが、以前予定されていた2件が取りやめになったという説明がありました。次年度の見込みと現在の周知方法について、就職説明会だったり、関連サイト、お知らせ版等での

広報はしているのかという点についてお伺いします。

それと次、概要書3ページの防災行政情報通信整備費、先日の一般質問で話が出ましたので、私の通告はしているんですが、省略させていただきます。

同じくホームページリニューアル事業費に関しても、私のほうで一般質問でかなりお話を伺いましたので、こちらでも省略させていただきます。

次に、概要書の20ページ、総務費における固定資産税課税事業費、こちらが大体マイナス51.6%となっているんです。こちらの内訳と減少理由についてお伺いします。

あと、また概要書21ページの民生費における障がい者福祉事業費、高齢者福祉事業費がかなり増加になっているんですが、こちらの主な増加理由について教えていただきたいということと、あと児童福祉事業費も増加しているんですが、主な増加理由について御説明願います。

最後に、概要書22ページの衛生費における健康教育指導事業費、こちらの主な内容と増加理由についてお伺いいたします。

以上、8点です。

○議長（沼田邦彦） 水上健康福祉課長。

○健康福祉課長（水上和明） では、私からは、健康福祉課関連の御質問に対してお答えいたします。

まず、概要書の1ページ、通院支援事業でございますが、対象者は、介護度3以上かつ寝たきり度BまたはCで、市税等の滞納がない世帯に属する者ということにしております。方法でございますが、月2往復を上限としまして、自宅から病院間の送迎、主にタクシー等になると思うんですが、にかかる運賃を全額市が助成するということになってございます。各料金の算定ということなんですが、令和元年の利用者の実績をもとに15人程度ということで見込んで算出してございます。

次に、感染症予防事業費、新成人に対するピロリ菌検査でございますが、現在のところ希望者は28名ございます。

続きまして、概要書の21ページの民生費における、まず、障がい者福祉事業費の増額の理由でございますが、これは第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画策定にかかる委託料分ということになります。

次に、高齢者福祉事業費の増額でございますが、これは産休代替職員の雇用に伴う報酬ということになってございます。

次に、概要書22ページ、衛生費における健康教育指導事業費の主な内容でございますが、これは、健診の結果説明会の開催であったり、特定保健指導実施、また重症化予防事業として、体アクティブ教室、血管若返り教室等の開催、また慢性腎臓病予防教室の開催、また糖尿病予

防プログラムの作成、またウォーキングセミナーの実施等、各種事業を展開してございます。

増額の理由でございますが、事業費は昨年並みなのでございますが、臨時職員の賃金を健康管理センター事業費から、実態に合わせるということで、移したための増額ということになってございます。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 神野学校教育課長。

○学校教育課長（神野久志） 私からは、概要書2ページの新学習指導要領対応デジタル教科書導入事業費についてお答えします。

まず、1点目の導入に伴う教員の研修等を行うかということについてでございますが、こちらについては、今のところは実施する予定はございません。その理由としましては、今回新学習指導要領対応の指導者用のデジタル教科書を小学校において、この概要書にもあるとおり、4教科について導入するというところでございますが、既に現在の学習指導要領に基づくデジタル教科書の導入がされておまして、こちらは3教科なんです。今回その操作方法については、余り変わることはないということでございますので、もし必要があれば、各小学校の内部研修等において、よりデジタル教科書の有効利用が図れるように、支援していきたいと思っております。

2点目のデジタルデバイスの導入費がこの中に含まれるかということでございますが、これにつきましては、教師用のタブレット等のデジタルデバイスの費用は入っておりません。内訳としましては、新学習指導要領に対応した教師用の教科書とか指導書の購入費、それからデジタル教科書の購入費とデジタル教科書のインストールの費用ということで計上しておりますので、それがその理由となります。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 文化調査費でございますが、烏山城の調査の状況については、先ほど申し上げたとおり、発掘調査については順調に来ておりますので、おおむね今年度で終了ということになります。令和3年度に向けて、期間が必要なものですから、報告書の刊行予定は令和3年度ということで進めてまいります。ですから、計画については大幅な変更はございません。

史跡を観光地として生かして、どんな検討というのがございますが、今指定に向けて報告書をまず刊行しなきゃいけないという部分、一番大きなのは、地権者の同意です。おおむね今予定しています指定区域は3ヘクタールを超えます。その周りの若干追加指定を入れると、5ヘクタールを超えるくらいの広大な面積になりますので、地権者も何十人という地権者もござい

ますので、そういった調整も同時に進めていかなきゃいけないということで、当然難航すると思っております。

そういったものも踏まえますが、私どもとしては、過日、烏山城跡の調査指導委員会とか、文化庁の説明を行った際に、山城の遺構を体感していただけるように、草刈りとか通路、案内看板の整備、指定区域外のガイダンス施設、駐車場等々そういった程度は予定したいという旨は伝えました。しかしながら、今言ったようなことを踏まえて、まず今進めていかなければいけないということなので、御了解いただきたいと思います。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 概要3ページ、地方創生移住支援金事業費について御説明いたします。

まず、本年度につきましては、2件、当初予算を計上しましたが、1件ほど相談があったんですけども、結果的にはこの事業は使わなかったということで、本年度については、見込みがないことから、3月議会において全額減額したところでございます。新年度につきましては、1件予定してございます。周知方法につきましては、市、また栃木県のホームページへの掲載。就職説明会では周知はしておりません。お知らせ版につきましては、マッチングサイト、そちらの掲載事業募集については、商工観光課で対応した形跡がございまして、そのほかの市内の企業への周知でございまして、富士見台工業団地工業連絡協議会、また南那須工業クラブ、そちらについては既に周知しているところでございまして、そのほかにはハローワークの求人情報の際の企業向けの御案内、それと転入者、市の窓口にいらした方に対しては、該当するような場合はまちづくり課に御案内するような、そういった周知はしているところでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 澤村税務課長。

○税務課長（澤村誠一） 予算概要の20ページ、固定資産税課税事業費についてお答えいたします。

予算の内容につきましては、固定資産税の課税のために必要な計算料、帳票印刷代、郵送料、各種システムのリース費用や委託料の経費でございまして、前年度と比較しまして、1,776万7,000円の減額になりますが、固定資産税の3年に1度の評価替えに伴う不動産鑑定業務委託が終了したことで、委託費にかかる予算経費の減額となったものでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 概要の21ページ、児童福祉事業費740万7,000円が増額となっております。内容は、保育園の運営、入退園、保育料の算定、保育料の徴収、幼児教

育・保育の無償化、子育てのための施設等利用給付費、市内保育士人材確保などによる経費となっております。増額の主な理由としましては、幼児教育・保育の無償化に伴う給付費分、こちらが増額の理由となっております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 4番荒井浩二議員。

○4番（荒井浩二） まず、1つ目の通院支援事業費なんですが、おおむね了解しました。

1つだけお伺いしたいんですが、こちらというのは、支払いというのは、どうなっているのでしょうか。利用者はその場でまず自分のお金で払うのか、それとも後で払うのかというところをお伺いします。

あと、感染症予防事業費、こちらは28名の応募があったということで、思っていたより健康意識の啓発につながっているのかと思います。こちらは、ぜひ私のような中年手前の、ミドルエイジクライシス手前の世代への健康意識へのきっかけとして、まだ自分は若いんじゃないかと思っているところに、危機感でもって健康意識の啓発につなげていただければと思いますので、そういったところも今後検討していただければと思います。

次に、新学習指導要領対応デジタル教科書導入事業費なんですが、こちらは特に研修の予定がなく、必要があればというお答えでした。昨今ニュースでも取り沙汰されるGIGAスクール構想との直接の関連というのは、GIGAスクール構想というのは結構最近出てきたものですから、多分余りないのかと思うんですが、タブレットとかの導入費用というのは含まれていないと御説明がありました。ただ、デジタル教科書を導入してインストールするという話があったんですが、インストールするということは、何かしらの機器の中に入れると思うんですが、これというのはどのような機器が対象となっているのでしょうか。パソコンなのか、それが個人所有のタブレットなのか、いろいろあると思うんですが、そちらについて教えてください。

次に、文化財調査費なんですが、地権者の同意を得ないと先にも進めないということなので、烏山城跡というのは、那須烏山市の観光資産としてもかなりのポテンシャルを秘めていると思いますので、ぜひ有効活用していただけるようにお話を進めていただければと思います。自分なんかは、健康増進も兼ねたウォーキングトレイルコースがいいと思っております。

次に、地方創生移住支援金事業費、こちらは新年度も1件を予定されているということで、周知もそれなりにしているようなんですが、ぜひ就職説明会だったりとか、お知らせ版等で周知していただいて、例えばこれを地元的那須烏山市に住んでいるお母さんが、あんだ、こういうのがあるんだから、帰って来なさいよみたいな、そういう話につながるように、ぜひ周知徹底を図っていただけて、成約件数の増加に努めていただければと思います。市内でもUターンの若者は結構多い印象がありますので、こちらをぜひ御検討ください。

あと、これは重ねて申し上げるんですが、定住促進の際、なすからいふに、この支援金事業費は未掲載となっていますので、こういったところの周知の情報のそごというのを、各課いろんなところがあると思うんですけども、ぜひなくしていただければと思います。

次に、総務費における固定資産税課税事業費、こちらは理解しました。3年に1度固定資産税が変わるので、それに伴うものということですね。

次に、民生費における障がい者福祉事業費、高齢者福祉事業費の増大に関しても、あと児童福祉費、こちらに関しても理解いたしました。衛生費に関しても内容を理解いたしました。

答弁をお願いします。

○議長（沼田邦彦） 水上健康福祉課長。

○健康福祉課長（水上和明） 通院支援事業費の支払い方法ということだったんですが、対象者には申請月の翌月分から使用できる利用券を発券する予定ですので、利用者が現金を支払うということとはございません。

それと、感染症予防事業、全体的な予防の事業、これは引き続き努力してまいりたいと思っております。

○議長（沼田邦彦） 神野学校教育課長。

○学校教育課長（神野久志） まず、GIGAスクールとの関連につきましては、荒井議員が申されたとおりに、これから見えてくる部分かなということで、関連性はだんだんにはなるかと思えますけれど、今の段階では詳細は不明ということで御了承いただきたいと思えます。

2点目のインストールするということについてなんですけれど、これにつきましては、学校ごとに設置されているハードディスクにインストールということで確認はしております。1台1台パソコンとかにということではないということです。

○議長（沼田邦彦） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 今、神野課長から答弁したとおり、補足いたしますと、デジタル教科書については、現教育課程のものは入っていますので、教育課程の変更に伴う新たな教科書を入れたということです。周辺機器その他は今までのものをそのまま使える、それからGIGAスクール構想については、当然今度は1台1台子供が持てば、そこに無線LANを通して、大きな今は電子黒板でやっているわけですが、それが一人ひとりに行くような、そういった総合的に使えるように内部で構築していく、そういう方向になっていますので、よろしくお願いします。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 地方創生移住支援金につきましては、議員からお話があったお知らせ版への掲載、それは新年度早々対応していきたいと考えております。また、なすか

らいふとのそごにつきましては、内部でも庁内的にもう少しもみまして、改善できるよう取り組んでまいりたいと思います。

○議長（沼田邦彦） 4番荒井浩二議員。

○4番（荒井浩二） 新学習指導要領対応デジタル教科書導入事業費なんですけど、こちらは学校のハードディスクに保存する、インストールするとあるんですけど、これは学校の大多とのストレージに保存するというので、利用というのは、その都度プリントアウトするような感じのアナログな方法で使っていらっしゃるということでしょうか。

○議長（沼田邦彦） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 学校には各教室に既にラインがつながっていますので、そこでパソコンを経由して電子黒板に映像を映す、先ほど申し上げたように、将来的には子供たちのタブレットに無線LANで直接行ける、そのような形になっております。

○議長（沼田邦彦） 5番福田長弘議員。

○5番（福田長弘） それでは、通告書に基づきまして質問をさせていただきたいと思えます。

まず、第1点目です。こちらは予算書から、概要書のほうがわかりやすいかと思いますが、41ページ、総務費内の企画一般管理費についてでございます。昨年度よりこちらは220万円ほど増額になっているんです。あとは、企画一般管理費の内容についても、あわせてお示しいただければと思います。

第2点目でございます。43ページ、運転免許証自主返納者支援事業費、こちらは今年度の事業の見込み、内容についてお伺いしたいと思います。

続きまして、予算書、総務費内地域交通対策費の中の烏山高部線運行管理費、あわせて市埴黒田烏山線運行管理費、両方とも昨年度より50%以上の増額ということになっております。こちらの内容をお伺いしたいと思います。

続きまして、65ページ、農業費の中の農業委員会の運営費でございます。昨年度より運営費が増額になっている内容についてお伺いしたいと思います。

通告書では、次に消費者行政事業費ということで、特殊詐欺のことをお伺いしようと思いましたが、先ほど同僚議員の質問にありましたので、こちらは了解させていただきたいと思えます。

最後の質問でございます。81ページ、消防費の中の水防費の減額の理由についてお伺いたします。よろしくお願いたします。

○議長（沼田邦彦） 石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） 予算書41ページ、企画一般管理費の増額とその内容という

ことでございます。

企画一般管理費の内容につきましては、主には庁舎整備等検討委員会、いわゆる外部委員さん12名分の会議を2回予算上は予定しておりますので、その報酬で16万円、そのほかは旅費、あとは需用費、役務費郵送料等でございます。今回増額になっているのは、国土強靱化地域計画の策定を280万円で予算化しておりますので、その分がふえているということで御理解いただければと思います。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） 総務課関連でお話ししたいと思います。

まず、運転免許証自主返納者の支援事業費でございますが、平成29年、30年あたりは申請者が85名程度でしたが、今年度2月いっぱいで見ますと、117名の申請ということで、大きく申請者が伸びています。通常これの大体タクシー券の利用が多いものですから、その予算措置を60万円ほど毎年していたんですが、ことしは9月に補正でまた60万円ほど補正したという状況もございまして、令和2年度については、当初から100万円の予算見込みということでしております。内容的には例年同様の補助ということで考えておるところでございます。

あと、水防費でございます。令和元年度は水防訓練を予定しておりましたが、今回ちょうど水防訓練の時期に別な人探しとかがあったものですから、中止となったわけでございますが、水防訓練については、操法大会の年と交互にやるということで、令和2年度については操法大会の年ということで、水防訓練を実施できませんので、その分の費用を減額したところがございます。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 予算書43ページ、烏山高部線、市塙黒田烏山線の増額の理由でございます。

まず、今年度をもって3年間の業務委託契約が終了しますので、令和2年度から新たな契約が発生します。したがって、当初予定した額は、設計額による計上をいたしましたので、高めの予算を計上させていただきました。次年度以降は決算ベースになることから、契約額ベースになることから、予算は低くなっていくこととなります。ただ、燃料費の高騰等がございますので、実際の決算額のベースで見ても、両路線とも若干の増額というような運行形態になってくるとおられます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 予算書65ページ、農業委員会運営費についてお答えいたします。

こちらが増額になっている内容といたしましては、会計年度任用職員の費用約256万円の計上をさせていただきますので、増額となっております。

○議長（沼田邦彦） 5番福田長弘議員。

○5番（福田長弘） 御答弁ありがとうございました。

おおむね私がお伺いしたいことは出ております。なかなかわからないところが含まれてございます。実際に予算審議をしっかり運営していただければと思います。答弁は結構です。

以上で終わります。

○議長（沼田邦彦） 6番村上進一議員。

○6番（村上進一） 通告書は15項目出してあるんですけど、7項目ぐらい既に回答を得ていますので、残りの質問をさせていただきたいと思います。全て概要版でございませう。

概要版の5ページの補助金の見直し・廃止ということで、大変結構なことだと思うんですけど、不要な補助金というのを見直したのは。その中で12項目削減したということになっているんですが、予算書の負担一覧表、107ページにありますので、そこからどの項目が該当するのかわかりたいと思います。あわせて、次の行で令和2年度中の見直しに着手予定の項目があるんですけども、具体的に決まっていれば、その項目について教えていただきたいと思っています。

それと概要版19ページ、ふるさと応援寄附金事業に関しては、前年と同額なんですけども、ふるさと応援寄附金に関して今後どういう取り組みをするのかわかりたいと思います。

概要版20ページ、社会保障・税番号制度システム整備事業費が520万5,000円増額になっておりますので、理由をお知らせください。

概要版20ページ、定住促進対策事業費153万9,000円減額になっております。定住促進の事業自体、今後の見通しとか、また今後どういった見直しがあるのか、あればお知らせください。

21ページの在宅高齢者支援事業費の594万円の減額理由、その次が、22ページの環境衛生総務費3,775万円の減額理由です。

概要版24ページ、中学生海外派遣事業費70万5,000円増額になっております。ただ、この海外派遣事業費に関しては、見直ししたほうがいいんじゃないかという意見がありましたので、今後この海外事業費はどうやっていくのかお知らせください。

24ページ、中学生部活動・学習サポート事業なんですけども、新たな事業で、宇大生に手伝ってもらって、中学校の先生の負担軽減には大変いいことなんですけども、別に宇大生じゃなくても、地域の協力者ではダメなのかと、そういう観点から御回答いただきたいと思っています。

以上でございませう。

○議長（沼田邦彦） 石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） まず、12項目の補助金削減、また廃止についての見直し内容でございますが、12項目一個一個についてのほうがよろしいですか。（「予算書の一覧の中のどれなのか言ってもらえれば、12項目」の声あり）予算書と突き合わせしなかったんですが、手持ち資料から申し上げますと、総務課の交通安全対策費の中で、市の交通安全協会負担金補助金を3万円減額してございます。理由としましては、繰越金等があることから減額させていただきました。

こども課関係で、私立幼稚園教育振興費、内容としては、子育てランド事業補助金でございます。こちらにつきましても、県の基準が20万円を上限としているんですが、市は県の補助金以上の補助金を出していたものですから、今回県の基準に合わせた基準額とさせていただいたものです。

農政課関係ですが、農地流動化奨励金交付事業費、事業内容としましては、農地流動化奨励金でございます。こちらにつきましては、昨年度をもって廃止させていただきました。理由としましては、南那須地区で昭和54年以降ずっと継続されていたんですが、現在認定農業者のみが利益を受けるということで、特定の者に対しての利益供与ではないかということで、もっと広く制度を見直すべきだということで、令和元年度をもって廃止させていただきました。

同じく農政課、経営所得安定対策直接支払推進事業費のうちのWCS利用補助でございます。こちらは66万円前年度ありまして、ことしは廃止させていただきました。WCSの1ロール当たりの購入補助でございますが、株式会社等が購入するための補助金となってしまいますので、利益に対する営業活動に対する補助はしないということで、廃止させていただいたものです。

同じく農政課、農地振興費でございますが、烏山土地改良区補助金でございます。こちらも若干9万6,000円ほど減額させておりますが、補助金に対する算定基準が曖昧だということでございまして、現在令和2年度にかけて、受益者面積や農家戸数をベースとした基準ある補助内容を算定するために1年間の検討をするということで、今回は若干ですが、減額させていただいております。

商工観光課になりますが、商工振興対策事業費、プレミアム付商品券発行事業費補助金、昨年1,500万円ありました。これは国の事業でございましたが、今回はゼロにしております。現在のキャッシュレス化にあわせた商品券が国の事業として行っている、また、ことし9月ごろからは新たにマイナンバーカードを使ったような商品券等も出ますので、従来どおりの単純に紙ベースの商品券を発行しているばかりじゃなくて、商店街やそういうところもキャッシュレス化に進んだ事業に取り組むべきだろうということで、今回は紙ベースでの商品券発行の事

業については見合わせる、補助しないということで、今回は削減させていただいております。

あと、都市建設課関係ですが、道路愛護会と河川愛護会、こちらについても若干削減させていただいております。条例上の基準については、一会員90円が基準で、たしか条例か規則に載っていると思うんですが、過去年々、平成26年あたりだと、200円までだんだん引き上げていて、県内の水準でいいますと、トップレベルの補助額が出ていた、確かに自治会等やっていたのはありがたい話なんでございますが、補助金としましては、県内の情勢から見て、那須烏山市は特別に飛び抜けている金額ということでございましたので、こちらも少し減らせていただいたものです。

あと、生涯学習課関係で国際交流事業補助金ということで、国際交流協会の補助金でございますが、こちらにつきましては、繰越金、または基金等を持っておりますので、自分の自主財源を使った活動内容を検討してくれということで、若干を減額させていただいております。

同じく生涯学習課、人権と男女共同参画推進事業費で、女団連の協議会への補助金でございます。こちらにつきましても、少しですが、削減させていただきました。交付実績等から減額したものでございます。

同じく生涯学習課、芸術文化活動事業費文化協会補助金、こちらにつきましては、2,000円の端数なんですけど、減額させていただいたものでございます。全体経費について、補助対象経費というものはっきりさせてくれということで、課題としております。

一番最後で、同じく芸術文化活動費で、山あげ俳句全国大会実行委員会補助金でございます。実行委員会に俳句大会を開いていただいているということで、ありがたいと思うんですが、その周期についても検討すべきだろうと、経費をかけないでやっていただきたいということで減額させていただいております。

次の令和2年度中に見直す事業の着手ということでございますが、全体を見直しはしておるんですが、その中で特にという話となりますと、観光協会とか社会福祉協議会等の外郭団体のあり方、またそれにかかわる市行政としてのかかわり方等がメインかなと思いますが、全体的な補助金の見直しについては、随時やっていると御理解いただきたいと思っております。

次に、ふるさと応援寄附金の事業でございます。ふるさと応援寄附金への取り組みとしましては、今現在ふるさとチョイスというところをお願いしているんですが、これを今回拡大しようということで、ふるなびという同じ寄附のサイトと、あと楽天の2つを追加するというふうにして、現在のふるさとチョイスから3つにする、あと、マルチペイメントサービスを導入いたしまして、今現在は郵便振替や銀行振込、または現金、クレジット払い等に対応しておりますが、今現在のキャッシュレス化を含めた何とかペイ払いとか、そういうものに対応できるような、全ての代替のキャッシュレス化にも対応できるようなマルチペイメントシステムを導

入して、受け入れの機会を広く持つというふうにしてございます。

また概要版19ページの企画一般管理費の増額につきましては、先ほど申しあげましたように、国土強靱化地域計画の策定に伴う増額でございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 皆川市民課長。

○市民課長（皆川康代） 概要版20ページの社会保障・税番号制度システム整備事業費について、増額の内訳の御説明をいたします。

こちらの事業費につきましては、国が進めておりますマイナンバーに関連するものでございます。令和2年度につきましては、新たに戸籍情報とマイナンバーをひもづけするための戸籍システム改修に要する委託料でございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 概要版20ページ、定住促進対策事業費153万9,000円減額の主な理由でございます。

まず、今年度まで移住体験ツアーというものを予定しておりましたが、新年度におきましては、それが未実施、今のところ見直すということで予算計上していないことから、50万円ほど減、そのほかに地方創生移住支援金、令和元年度は200万円計上しておりましたが、今回1人だけ見たことから100万円、おおむね150万円がこの金額になってございます。

そのほかに、定住促進事業の今後の見通し、または見直しでございますが、令和2年度にまちづくり課で持っております定住促進住まいづくり事業、民間賃貸住宅家賃補助事業、住宅リフォーム助成事業、これらの住宅に関連する政策につきましては、市全庁的に住宅政策、ほかの課にも関連するような、そういったものも踏まえて見直しを図るべきということで、令和2年度をもって見直しを図る時限立法として規定が整備されてございます。したがって、令和2年度に内容をもう一度総点検しまして、令和3年度からはどのような事業がいいか検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 水上健康福祉課長。

○健康福祉課長（水上和明） 概要版21ページ、在宅高齢者支援事業費、これの減額の理由でございますが、支援事業の中で温泉入浴券交付事業、これを休止といたしましたので、その分の減額ということになってございます。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 神野学校教育課長。

○学校教育課長（神野久志） 概要版24ページの中学生海外派遣事業についてお答えいたします。

70万5,000円の増額につきましては、航空燃料等を含めた航空費用の増額ということでございます。それから事業につきましては、昨年と同様、メノモニー市への中学生派遣ということで、生徒10名、随行2名の12名ということで予算は計上しております。派遣を通じて国際的視野の拡大に努めるとともに、今後、国際交流協会との連携を図りながら、地域に貢献できるような取り組みを考えていきたいと思っております。

2点目の概要版24ページの中学生部活動・学習サポート事業についてお答えいたします。

106万9,000円全部ではなくて、このうちの93万6,000円分が講師料ということで、日額で7,000円、それで8名で8回という計算で積算はしております。講師の方については、御質問でもいただいたように、現在、宇大生ということでお願いをしておりますが、中学生の皆さんと比較的年齢も近いということで、親近感を持って当たることができるかなというところもでございます。令和元年度に事業実施した後に、授業等を受けた中学生の皆さんからのアンケートでは、親しみやすく気軽に教えてもらえたという声が多かった状況でございます。

なお、今年度かわられた学生の講師の中には、本市出身の学生さんもおられました。地元のためということで、今後、先生として、教員として活躍したいという人材育成にもつながるということに期待しまして、このサポート事業を継続してまいりたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） すみませんでした。概要版22ページ、環境衛生総務費の減額理由でございます。

これにつきましては、広域負担金である斎場分にかかる負担金分が大幅に減ったことから、令和2年度については予算が低くなった理由でございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 6番村上進一議員。

○6番（村上進一） おおむねわかりました。補助金等にもメスを入れていただき、スクラップ・アンド・ビルドの実施をされているんじゃないかと思っております。

それで、前回の決算で、総務企画常任委員会から要望があった2点なんですけど、「ふるさと応援寄附金については、制度の趣旨を踏まえ返礼金を見直したが、市内で体験できるレジャー、スポーツ等交流人口の増加につながるものを追加するなど、自主財源の確保に努められたい」という要望があったんですけども、それに関する検討はされているのでしょうか。

あと、「地域おこし協力隊については、隊員の市内定着に向け専門的な助言、指導等も含め、任期終了後も本人に寄り添った支援を実施されたい」という要望が出たんですけども、その2点に関してどう検討されたか、また、あと地域おこし協力隊はなかなか隊員が見つからない状況なので、今現在1人がなっているんですけども、地域おこし協力隊自体の活動というか、それも根本的に見直す必要があるんじゃないかと思うんですが、その点の御回答をいただきたいと思います。

○議長（沼田邦彦） 2点でよろしいですか。

○6番（村上進一） はい、いいです。

○議長（沼田邦彦） 石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） 以前、常任委員会から御意見いただきまして、体験型等の検討ということをお話しいただきました。随時、募集等はしておりますし、現在、事業者等があれば声はかけているんですが、なかなか定期的に寄附があるものでもないので、事業者等々がそこら辺に手を挙げるとというのが現実的には少ないというのもありますので、機会を捉えてPRしていきたいと思います。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 地域おこし協力隊の事業の見直しという点でございますが、まず、1期生は、起業、自分で事業をおこし、それで生計を立てていくという非常に難しいテーマを求め、今に至ってございます。第2期生につきましては、そういった自分で事業をおこすというような点じゃなく、観光行政の活性化に向けて観光協会と一緒に連携しながら、地域の活性化に向けて取り組む、そういったお題で今回出してございますので、そこが見直した結果でございます。

以上です。

○6番（村上進一） 了解です。

○議長（沼田邦彦） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） それでは、令和2年度当初予算総括質疑を行わせていただきます。かなり質問事項がダブってましたので、削除して質問していきたいと思います。

まず、概要版から1ページの認定こども園施設整備費、これは調査設計に要する期間、そして新規事業の内容というか、概要というか、それを伺いたいと思います。

同じく1ページの妊産婦健康診査・産後ケアについてお伺いいたします。現在の利用者数、そして拡充の理由について伺います。

続きまして、ダブって申しわけないんですが、私も聞きたいところですので、お伺いします。都市農村交流事業ということで、現在の事業を拡大し、関係人口増を目的とするが、具体的な

内容というのは決まっているのでしょうか。そのことをお伺いしたいと思います。

次に、概要版22ページ、予防接種事業費、全体的に増額となっているんですけども、高齢者予防接種事業費、新型インフルエンザ予防事業費が減となっている理由をお伺いしたいと思います。

それから、概要版23ページ、新事業創出支援事業費というのが皆減になっていますけれども、その理由についてお伺いします。

概要版21ページに戻りまして、生活困窮者自立支援事業、自立相談等の相談件数及び事業内容、充実されているのかどうか、また減額されているんですけども、その理由についてお伺いしたいと思います。

それから、今度は予算書59ページ、生活保護扶助費、保護世帯数、また減額されているんですけども、この理由についてお伺いします。

予算書31ページ、病児保育受託事業ということで、今年度までの利用者数をお伺いします。

次に、予算書92ページ、体育施設費ということで、荒川体育館の解体工事期間をお伺いするのと、全体的な管理費の減というのが見られるんですけども、その理由をお伺いします。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 概要1ページの認定こども園施設整備費、こちらにかかる調査設計に要する時間、あと概要ですが、まず大きく分けまして、測量業務と認定こども園施設設計になります。測量業務は、基準点測量、地形測量、応用測量に細分化され、現地における測定の確定や地面の形状、起伏の3次元計測を用い、測点をデータ化し、基本設計を策定する上での敷地分析や概算工事費の算出に充てようとするものであります。

次に、認定こども園施設設計部分になりますと、測量結果をもとに認定こども園化を進めるに当たっての課題の抽出や最良なるスキームの提案であったり、概要工事費の算出であったり、都市計画法における事前協議の調整など、詳細設計を作成するための業務委託となります。設計に要する期間とすれば半年程度を見込んでおりますが、調査研究を進める過程で想定以上の期間を費やすことになるのではと思っております。加えて、認定こども園化に向けた作業とすれば、令和2年度における基本計画の策定の次の段階として、基本計画を踏まえた上での詳細設計、いわゆる図面の設計図書作成になりますので、本工事着工にはもう少し時間を要することになるかと思っております。

次に、概要1ページの妊産婦健康診査・産後ケア現在の利用者数、拡充の理由ですが、初めに現在の利用者、産後2週間受診者数につきましては、昨年4月からことし1月にかけて71名です。産後1カ月受診者数につきましても、昨年4月から1月ということで90名、拡

充の理由ですが、消費税増税に伴いまして、利用料金の改定があり、宿泊型が3万円から4万円に、日帰り型が1万円から2万円に引き上げられたことにより、利用しやすい環境を整える目的で利用者負担額を3割から2割としたものです。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 概要の4ページ、都市農村交流事業費につきまして、具体的な内容はということですけれども、例年実施しております豊島区交流事業のいなか川遊び、こちらにつきましては、毎年行っております、いなか川遊び、先ほどもお話ししましたジャガイモ掘り等そういったものがベースとなると思います。それと今回ふやしたい、複数回にしたいというものにつきましては、目的が交流でございますので、その地域の方々からアイデアをもらいながら具体的な方向性に向けて実施を考えたいと思います。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 水上健康福祉課長。

○健康福祉課長（水上和明） 概要版22ページ、衛生費、予防接種事業費について、まずはお答えいたします。

高齢者予防接種費でございますが、これは65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種、また肺炎球菌ワクチンの予防接種に対して補助を行うものでございます。その中で肺炎球菌ワクチン接種につきましては、接種者が年々増加しておりまして、それに伴いまして接種率も下がってきておりまして、対象者が減少しております。そのために減額したものでございます。

次に、新型インフルエンザ費の減額の理由でございますが、これは備蓄品がある程度そろったということで、前年度より減額になってございます。

続きまして、概要版21ページ、生活困窮者自立支援事業のまず相談の件数でございますが、おおむね15件でございます。事業の内容は、主に就労に対する助言を行うもので、生活困窮状態にある者への情報提供や助言を行いまして、自立を促進するものでございます。減額となっている理由ですけれども、臨時職員の勤務体系が変更になりまして、報酬等が減額になったための減額になります。

それと、予算書59ページ、生活保護扶助費のまず保護世帯数でございますが、令和2年1月31日現在で129世帯となっております。減額の理由でございますが、扶助費の中で医療助成につきましては、なかなか予測が困難ということで、前年度の平均額等を考慮した結果、減額としてございます。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 予算書92ページの体育施設費についてお答えいたします。

概要版4ページにも、荒川体育館の解体工事事業費については記載させていただきましたが、荒川体育館の解体工事の期間についてでございますが、年度が変わりまして設計を進めた上、予定としては11月には着工できるのかなという見込みで進めたいと思っています。解体の期間は年度末ということで御理解いただきたいと思います。

それから、全体的な管理費の減ということでございますが、主な大きな減額については、まずB&G海洋センターの管理費が524万1,000円減額でございます。今年度の当初予算、昨年度の令和元年度の当初予算には、民間への業務委託ということで金額を計上いたしましたので、補正でも説明いたしましたけども、令和2年度もなかなか業務委託の業者が見つからず、やはり直営で運営してまいりますので、その分予算の減が生じております。また、烏山野球場の管理費も123万5,000円の減額ということで、現在災害復旧工事を3月中完成予定として進めております。当初の予算は、水道料のみということで計上いたしましたけども、必要に応じて補正予算で復旧とあわせて状況を見て対応させていただきたいと思っております。それから、学校開放の施設管理費についても、40万7,000円の減額ということでございます。全体的に昨年度の実績、それから不要な部分は勘案して計上させていただいておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要書23ページ、新事業創出支援事業についてお答えします。

こちらは事業の組みかえによるものでありまして、令和元年度予算では、新事業創出支援事業において2つの補助メニューが計上してありました。このうちベンチャープラザ烏山施設運営事業費補助金については、内容の変更を踏まえまして創業者支援事業補助金に改めまして、商工団体支援事業費に計上しております。中小企業競争力強化支援事業費補助金につきましては、中小企業振興対策事業費に計上したものでございます。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） 最初に、病児保育受託事業の利用人数は、お伺いしたような気がするんですけど。

○議長（沼田邦彦） すみません。すぐ答弁させます。

川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 申しわけございませんでした。

予算書31ページ、病児保育受託事業、こちらの利用人数でございますが、受託ということ

なので、那珂川町分となります。4月から1月までで58名の利用となっております。参考といたしまして、本市那須烏山市は30名、あと市内勤務世帯9名です。那珂川町分の58名を合わせて97名となっております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） おおむね了解したところなのですが、何点か再質問いたします。

妊産婦健康診査・産後ケアについてなんですけれども、産後鬱になりやすい時期なので、どこまでも寄り添った対応というのを市の職員さんも多分電話でいろいろ聞かれてくる部分もあると思うんですね。そのときに対応の言葉の一言一言が、そういう時期に違うとり方をして、うまく捉えることができない部分もありますので、寄り添った対応をこれからもお願いいたします。

それから、都市農村交流事業についてなんですけれども、私も何回かそこに参加させていただいて、交流事業はとても楽しませていただいております。その中で今度やられる事業に対して要望させていただきたいんですけれども、七合地区の方で市内の小学生などを対象に、田植えと稲刈り体験ができるイベントを開催していることがあるんですね。それはとても、やったことがない子供たちにとっては、大きな体験になりますし、田植えと稲刈りということで2回来ることができる、そういうイベントになりますので、市外の方にもとてもいいのではないかと思いますので、それを考慮していただけないかということをお伺いしたいと思います。

それから、予防接種事業についてなんですけれども、高齢者の方については、わかりました。

それから、これは赤ちゃんのワクチンの接種に関してなんですけれども、今回ロタウイルスが接種の助成になりますけれども、赤ちゃんの接種というのは、本当に生まれてから急いで接種をする期間の計画を立てないと、接種漏れができてしまうんですね。それなので、再度きちんと計画を立ててやれるように、それも、そのお子さんが生まれて、できない時期とか、病気をしているとか、そのお子さんの健康状態にも大きく影響してきますので、生まれた月齢からその期間というのは決まっているので、しっかりと寄り添った形でもう一度対応していただければと思います。

それから、生活困窮者の自立相談件数というか、その支援事業なんですけれども、就労に対する助言をされたということなんですけど、今回15件あったということなんですけども、なるべく就労ができる環境というのを本当によく聞いてあげないと、どうせできないやという気持ちになって逃げてしまうような態勢というか、内面が難しい部分なので、そちらも寄り添っていただいた、今も寄り添っていただいていると思います。さらに寄り添った形をとっていただいて、その方たちが生活保護を受けなくて済むような形をとっていただけるような体制をま

たさらに強化していただければと思います。

それをお願いします。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） ただいまの都市農村交流事業につきまして、要望いただきました。ありがとうございます。

こちらは、本市におきまして、田植え、稲刈りの事業では、企業とJAがタイアップしております。田植え、稲刈りを実施している例がございます。大変人気があるということも聞いております。そういった事例がありますので、取り組まれる地域の方と意見交換しながら、実現に向けて取り組んでまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） 了解いたしました。よろしく願いいたします。

○議長（沼田邦彦） ここで暫時休憩いたします。再開を午後1時10分とします。

休憩 午後 0時07分

再開 午後 1時10分

○議長（沼田邦彦） 休憩前に引き続き会議を開きます。

総括質疑を続けます。

8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 総括質疑を続けさせていただきます。予算書概要から質問させていただきます。

初めに、予算書概要19ページ、今まで提出したのものもありますけども、今まで聞いたものは削減していきたいと思っておりますので、お願いします。19ページ、イメージキャラクター維持管理費皆減の理由を教えてください。お願いいたします。

同じく19ページ、地域の学校を核とした地方創生事業費、これは多分烏山学のことではないかと思うんですが、61万7,000円、どのような事業に支援するのかをお伺いいたします。

次、20ページ、市民号実施事業費皆減となっておりますが、市は今度ノータッチになるのか、そういうことをお伺いします。

次、23ページ、鳥獣被害対策事業費36万円増となっております。これは一般質問の中でもあったと思うんですが、鳥獣がふえている中で、どのような事業費で支援するのかお伺いいたします。36万円増の理由もあわせてお願いいたします。

同じく23ページ、大金駅前観光交流施設運営費6万円増となっていますが、指定管理なので何か物が壊れたとか、そういう保全費ではないかと思うんですが、6万円増の理由をお願いいたします。

最後、24ページ、消防団活動費116万7,000円減ということ、2.4%減になっていますが、その理由と、その次、操法大会費、2年に1度の操法大会だと思いますが、これは市でやる操法大会のお金だけなのか、2町合わせてその大会までやる費用なのか、県大会までの最後まで費用なのかお教え願いたいと思います。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 概要19ページ、イメージキャラクター維持管理費の皆減でございますが、これにつきましては、事業費がなくなったというのではなく、シティプロモーション事業費に業務を移しかえたと御認識いただければと思います。その中で、従来のイベント等に出店した際のキャラクターの委託料、また消耗品費、修繕費、手数料34万4,000円をシティプロモーションの中で計上してございます。

続きまして、19ページ、地域の学校を核とした地方創生事業費でございます。これについては、烏山学にかかる費用と御認識していただければと思います。1年生にかかる烏山学に関するもの、2年生になりまして、今度市外に出てフィールドワークするという費用にかかるものについてがメインでございます。3年生になりまして、共通プログラムということで、生徒の移動費にかかる市有バスの使用経費がございまして、これにつきましては、燃料費等につきましては、歳入の中で3年生については学校側が負担するというようなことで取り入れているものでございます。

それと20ページ、市民号実施事業費の皆減でございます。これにつきましても、市民号事業費にかかる、今まで市職員が随行する費用にかかっていたものでございますが、これにつきましては、烏山線利用促進事業費の中に計上してございます。今回は参加負担金ということで、職員の負担金を計上した経緯がございまして、ちなみに、利用促進事業費64万6,000円でございますが、その内訳は、市民号の随行にかかる参加負担金が36万円ほど、そのほかにJRの回数券の購入費11万8,000円、そのほかに烏山線発車予告メロディにかかる費用11万8,000円、そのほかノベルティ購入にかかる5万7,000円、計64万6,000円の費用となっております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） それでは、23ページ、鳥獣対策事業費について答弁させていた

できます。

まず、イノシシ対策で本市が取り組んでおります支援事業ですけれども、まず、捕獲に関しましては、イノシシ捕獲奨励金、こちらはイノシシ1頭につき6,000円のもの、それと緊急捕獲活動支援事業、こちらはイノシシ成獣に対して8,000円、捕獲強化奨励事業ということで、こちらは2,000円、イノシシ捕獲業務委託ということで、猟友会へ捕獲の委託を年間を通じてお願いしております。そのほか侵入防止としまして、電気柵などの設置費補助金、こちらは電気柵の設置費の2分の1、10万円を上限として補助させていただいております。それと、狩猟免許取得費の補助金ということで、狩猟免許等にかかる経費の一部、5,000円ですが、そちらの補助をさせていただいております。それと、鳥獣被害の対策協議会、こちらに対しまして、イノシシも含んで協議会への補助ということで行っております。それと、新年度に当たりまして36万円ふえているというお話ですけども、こちらにつきましては、鳥獣の奨励金につきまして、当初市の上乗せ分というのを平成31年度については計上しておりませんでした。令和2年度につきましては、200頭分2,000円、こちらの分を当初から計上しているもので、計40万円の増になっておりますので、それに関係しての増ということになります。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要書23ページ、大金駅前観光交流施設運営費の6万円の増額の理由でございますが、こちらにつきましては、今年度については、消費税増額となった10月から3月分までの6カ月分を上乗せしておりましたが、令和2年度につきましては、丸々1年分を上乗せする必要があるため、その増額分として6万円を計上したところでございます。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） まず、消防団活動費でございますが、団員報酬のほう、今まで定員から10名ほど減らして計上してきたんですが、実人数に近づけた人数での予算計上ということにしたものですから、それが大きく減となっております。また、消防団員の安全装備品を令和元年度は予定していたんですが、そちらを今回除いた分で減となっております。あと、消防車両関係の整備費で若干減という部分がございます。それと操法大会の経費でございますが、こちらにつきましては、那須烏山市で支出する分だけの計上でございます。

○議長（沼田邦彦） 8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 一通りの答弁ありがとうございます。何点か再質問させていただきます。

イメージキャラクターの件は、科目外という形でシティプロモーションの中に入っているということで、地域の学校を核とした烏山学なんですけど、これは事前に計画書等はもらっているんでしょうか。向こうも事業をするに当たって、1年間の計画とか、市からお金、これが補助金という形になるか、交付金という形かわからない、見ていないんですが、多額のお金をいただくに当たって計画書的なものはいただいているのか、それと、1年生、2年生、烏山のことをまず1年生に知ってもらおうという形で全体的にやると、いろんなところへ行ってやると思います。2年生になって、各専門的なこと、東京に行くところもある、そういったところがあるんですけど、これはフィールドワークに関しては、全額、いろんなのがあると思うんですね。何種類もあったと思うんですが、ほかの団体でも補助しているものとかもありますけど、フィールドワークに関しては、烏山高校生の個人負担というのはないのか、あるのかお聞かせ願いたいと思います。

市民号も科目外ということで、了解しました。鳥獣捕獲も了解しました。

最後、消防団の今よくわからなかったところ、操法大会は市の大会だけのものという理解でよろしいんですか。それとも市の分団が最後に県大会に行くまでの費用なのか、郡大会とは言わないけど、2町の大会も含めて、その大会全ての費用がこれで賄われているのか、もう一回お聞かせ願いたいと思います。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） まず、烏山学にかかる事業計画の件につきましては、基本的なプログラムは烏山高等学校の担当の教諭がつくったもので、新年度に入ってから1年間のスケジュールを組みまして、市のまちづくり課と調整して行うこととなります。したがって、事業計画書というのは、その際に公式に決まったものが出てくる予定になっております。また、地方創生の一環として始まった事業でございまして、烏山高校と那須烏山市が連携して取り組むということで、1年生が烏山学としてはまずメインになります。その費用につきましては、バスにかかる費用とか、そういったものについては那須烏山市が負担しましょう、それ以外については烏山高等学校が負担する、2年生になりまして、市から今度外に行く事業に関しましては、職員が随行して一緒に烏山高校生と県外に出向いてまいります。その際の旅費等を那須烏山市の負担にしてあります。それ以外につきましては、烏山高等学校が負担する、今度3年生になりまして、新たな取り組みに関してですが、それにかかる市有バスを利用する予定になっております。その市有バスを本市として貸し出しをしまして、それにかかる経費については全て烏山高等学校が負担する、結果、支出は那須烏山市として燃料費等を負担しますが、その分については、歳入として烏山高等学校が負担するというようなことになると思います。1年生につきましては、那須烏山市が負担することになりますが、もともと2年、3年生につ

いては、烏山高等学校が負担するというのでやっておりましたので、その負担の一部には学生からの負担もあると聞いております。金額については、すみませんが、今把握はしていません。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） 大変申しわけございませんでした。

この科目での予算計上につきましては、市で行います消防操法大会時に使うホースの購入費、それと参加分団に対する、まず市の大会に向けての交付金として全分団分、あと市の地区の大会分として4分団分、それと県大会につきましても、一応ポンプと小型ポンプと両方県に出ても大丈夫なように、2分団分の交付金を予定しております。

○議長（沼田邦彦） 8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 烏山学は、せっかく始まって、これはすばらしい事業だと思うんですね、烏山高校を存続させるという意味でも。残念ながら受験が間もなくありますけど、本年も1.00倍にはたどり着かなかった、40名減というにもかかわらずたどり着かなかったという現状はありますが、これからもこれを支援できるところは支援していただき、ほかの団体とかにも協力を求めていただけますようお願いいたします。

さらに消防団に関しましては、今聞いて、県大会の分までお金が入っているということなので、那珂川町と最後は争うんですが、ぜひとも那須烏山市の分団が出場できるよう協力体制をお願いします。

最後に1点だけ、各部では練習が大会に向けてだんだん始まってきますね。そうすると、始まっていく中で、各部にはどのぐらいの費用負担というか、頑張っている奨励金みたいなものかわからないですが、どのような形で予算を配分しているのでしょうか。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） まず、市の大会に向けての訓練交付金としまして、一部あたり2万5,000円、支部大会に出場した場合、交付金として15万円、県大会に出場した場合、80万円の予算計上をしております。

○8番（滝口貴史） 了解。

○議長（沼田邦彦） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 事前に4ページ分渡してありますので、担当課長さんは一生懸命答えを考えているんだと思うんですけども、時間の関係があるので、11点ぐらい、詳細について伺うというのは、聞けばわかるので、後で伺いますので、よろしくをお願いします。

それでは、質問の中身ですけども、予算概要書で全て質問いたします。

概要書の1ページに、結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実がありますけども、その中で保育所等施設整備支援事業費1億910万2,000円、この中で、これは0歳児から2歳児の受入枠の充実を目的にした予算ということなんですけども、問題は、例の職員確保の見通しが立っているのかどうか、これを教えてください。

2つ目です。予算概要書2ページに、農林水産業の振興、この中で継続事業として、「なすからブランド」6次産業化推進事業補助費20万円なんですけども、これはどんな費用なのかをお伺いしますけども、提案として、市内在住の元気な高齢者の中には、みそづくりとか、漬物づくりなどの達人がたくさんいるんです。この人たちに加えて、例えばピワ茶づくり等の新しい事業も含めて、地域の人たちが活躍する6次産業化の場づくりを仕掛けてはどうかということなので、こういう見方で見たときの見解を伺います。これらの事業を地域おこし協力隊に任せて、高齢者ばかりじゃなく、子供たちにも参加させて、わいわいがやがや楽しく作業し、販売も手掛ける組織づくりというか、まちづくりというような見方でもって仕掛けたらどうかと思いますので、見解があったら教えてください。

3つ目です。観光の振興、3ページですけども、この中で継続してユネスコ無形文化遺産活用推進事業費492万4,000円が予算されていますけども、GPS活用が載っています。これを伺いますけども、山あげ関係は、かなりお客さん志向でいろいろな改善をしていますけども、僕、思うんですけども、お客さん志向を考えたときに、常磐津をわかりやすい現代用語の電光掲示板採用などの、そんな支援策も考えると楽しんじやないかと思しますので、その辺をどう考えているか、何かアイデアがあったら教えてください。

次、5ページに、次世代に継承する公共施設等の供給量の適正化の中で、烏山地区の4つの公民館のあり方、これを検討するということなんですけども、どんなことで検討するのか、どんな目標、目的みたいのを頭に描いているのか、考えを教えてください。

それと、5ページ、事務事業・補助金等の見直しの中で、放課後子ども教室推進事業を学校地域協働本部及び地域コーディネーター設置の動向を踏まえて見直すとありますけども、その詳細、どんなメンバーでどんな目的、どんな着地点を考えて検討するか教えてください。

それと、ページ11、政策別重点事業という項目があって、文化の振興、これがあって、長者ヶ平の官衙遺跡とか、この整理等1,100万円ありますけども、これは国指定ですよ、長者ヶ平の官衙遺跡は。それで前から私は言っているんですけども、現地に行くと、駐車場の問題もありますけども、国の史跡に関しては、A3ぐらいの大きさのパウチっ子でつくったような案内板しかないんですね。これはもっと楽しくなるようなものをぜひ検討してほしい、そういう予算どりをしてほしいと思うんですけども、その見解をお願いします。

それと、ページ11、農林水産業の振興の中で、農地集積・集約化対策事業費372万円と

っていますけども、これは本事業に期待するところが私としては大きいんですけども、この目標をどこまで考えているのか、それを考えるときに、昨年目標に対する振り返りを実施して、課題を明確にして取り組んでいるのかを教えてください。

それと、同じページに、森林経営管理制度事業費498万4,000円がとられていますけども、この中で森林管理意向調査及び集積計画策定とありますけども、意向調査というのは具体的にどういう調査かも含めて詳細を伺います。

それと、12ページに、住環境の充実、この中に都市計画総務費の都市計画マスタープラン改定業務委託399万8,000円がありますけども、コンパクトシティに関しては、市の重点的な施策だと思えるんですけども、この内容を教えてほしいのと、これは重点施策なので、何でこの業務を委託しなきゃいけないのか、やはりこれは内製でやるべきではないかと思うんですけども、その辺の考え方を教えてください。

それと、参考資料ページ14、15のところに、市の予算を家計簿に例えると、こんな費用は私の担当の項目なんですけども、市長がいるので、ぜひこれを質問したいんですけども、家計簿、これを夫婦共働きで4人家族に例えるとという中に、親などからの仕送り援助金、これが420万円、こんな家庭はないですね。収入の2倍ぐらいを親が毎年、こんなのは、読んだらちょっとおかしいので、ぜひ検討してほしいのは、例えば仕組みとして申請すると国からもらえるお金とか、そんなふうにしてくれないと、親は大変だと思うのと、あとは支出も旅行とか、そういうやつも少し入れて、そういう家庭の内容なんですとぜひしてほしいというのを検討してほしいと思います。

それと、最後、ページ19から20の総務費があります。一般会計歳出増減比較表の中に、男女共同参画推進事業費ゼロにしてありますけども、これについては、男女共同参画推進事業が軌道に乗って、予算は不要かということではないと思うんですね。活性化というのは必要だと思うので、そういう意味では、まだまだ推進活動が必要だと思います。例えば男女共同参画活動を推進している先進事例団体による講演会とか、市内の優良企業を表彰するなどを実施することで、本市の役所内はもちろんのこと、企業などに進展していくと思われるんです。推進事業については、楽しく、わくわくするような仕掛けがまだまだ十分ではないのではないかと思いますんですけども、さらに言えば、そういう楽しく、わくわくするような仕掛けについて、この件に限らないんですけども、どんどんやって活動が推進できるようにしてほしいと思うんです。そういう意味では、これを仕掛けるのはトップである市長の役割が大きいと思うので、がんがん市長は職員にも投げかけて、アウトプットがいっぱい出てくるような、そんなふうにしてほしいと思うんです。男女参画に関して、たまたまゼロだったので、言ったんですけども、そういう見方で、予算がなくてもこういう活動はできますというやつに対してお答えください。

以上。

○議長（沼田邦彦） 小堀議員、最後の2つは市長に答弁を求めるということでよろしいですか。

○9番（小堀道和） お願いします。

○議長（沼田邦彦） 川俣市長。（「私じゃなくて大丈夫だと思いますので」の声あり）
石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） 予算の資料をつくりました担当としてお答え申し上げます。

市の予算を家計簿に例えるということ、単純な市の予算を羅列しても、一般の方にはなかなかわかりづらいという趣旨から、家計簿に例えてやっているわけでございますので、仕送りという表現が正しいか、国を経由した市の独自財源だと考えるかは別としましても、現在の市の予算の状況を示せるものということですので、一般家庭だったらおかしいだろうと、その一般家庭に例えること自体が難しいと逆に思いますので、だからその現状がこうだということを理解していただくための資料だと御理解いただければと思います。

次の支出に旅行や娯楽費も入れるべきではないかという御意見でございますが、逆に市の予算でございますので、旅行や娯楽費があつてはおかしいのかと思いますので、こちらにつきましては、表現の仕方かと思えます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 市長にということで、男女共同参画のまずそちらからお答えさせていただきたいと思えます。

昨年度までまちづくり課が男女共同参画の予算措置でしたから、総務費に計上してございました。令和2年度につきましては、今生涯学習課に移管されておりますので、予算措置はそちらに計上になります。名称は、令和2年度から変更になりまして、人権男女共同参画推進事業ということで予算組みをさせていただいております。令和2年度の予算につきましては、今申し上げたような事業名で32万2,000円計上しておりますが、令和2年度は新規事業として、仮称ですが、「まなびフェスタ in なすからすやま2020」と称して、内容は、人権教育、男女共同参画推進、生涯学習推進、図書館まつりなどを一体的にイベントとして実施する予定であります。期日については、11月14日土曜日を想定して進めてまいりたいと思えますが、会場は南那須公民館、図書館周辺ということで、今計画しております。内容につきましては、盛りだくさんに、議員おっしゃるように、楽しいイベントにしたいと思っております。

それから、所管のところで御回答いたしますが、烏山地区の公民館のあり方の部分でございます。公民館につきましては、4つ今公民館がございます。烏山公民館、境公民館、烏山南、

七合とございますが、市の公共施設等総合管理計画に基づいて進めてまいりますが、その中でも集約化、再編、統廃合等を進めていくということで書いてございます。それらに基づいて、今個別計画を令和2年度には施設ごとにつくっていかうと考えてございます。その部分を進めるに当たっては、各自治会等の御意見を伺いながら進めてまいりたいと考えておりますので、まだこういう具体策案はございませんが、しっかり長寿命化も含めた意味、利用状況も勘案しながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 長者ヶ平、どうぞ。

○生涯学習課長（菊池義夫） 国指定を平成21年に受けておりますので、国指定にふさわしい看板の設置というのは、御指摘のとおり、私どもも気になっておりますので、当然、今後、予算と調整しながらやりたいと思ひています。今追加指定に向けても、実は進めている箇所がございます。東山道、辰街道のぶつかる部分ですけれども、そういったところにも案内板、説明書きの看板をつくりたいということで、少しでも補助の対象になるような部分で進めてまいりたいと今調整中でございます。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 概要1ページ、保育所等施設整備支援事業費でございますが、こちらは職員の確保の問題だけでよろしいですか。（「はい」の声あり）まず、学校法人善念寺学園、こちらは鴻野山保育園になりますが、鴻野山保育園につきましては、既に職員は確保済みとのことです。

次に、社会福祉法人正洲会、こちらは三箇保育園ですが、愛和苑に勤務されている職員の中で、既に保育士等の資格を有する者が多数いるということで、配置転換を行って対応するとの話を聞いております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 農政課関連3つ御質問いただいております。

まず、1つ目、概要の2ページ、「なすからブランド」6次産業化推進事業補助費についてでございます。こちらは、なすからブランドに認証されました農林水産物を原料として加工、生産したのに対して2分の1の補助、上限10万円ということで、補助しているものでございます。市内で農林水産物といたしまして認証を受けておりますのが、中山かぼちゃ、パッションフルーツ、山あげ牛、それと山あげ米でございます。こちらにつきましては、まちづくり団体等で意欲ある団体等があれば、当然のことながら支援してまいりたいと思ひますし、まちづくり団体ということで、あらゆる課で関わりが出てくるかと思ひますので、庁内で連携をと

りまして支援体制をとっていきたいと考えてはおります。

続きまして、11ページ、農地集積・集約化対策事業費でございます。こちらについてですが、目標といたしましては、担い手への農地集積・集約化を推進しまして、地域の農地利用の最適化や規模の拡大、こういったことで農業経営の効率化を進めるということが大きな目標でございます。こちらの課題といたしますか、そういったものにつきましては、これだけの問題ではなくて、市の農林水産業におきましては、少子高齢化という大きな問題がございます。それに伴いまして後継者不足がありますので、国、県、市それぞれの農林水産業の振興に対しまして、さまざまなメニューが用意されておりますので、そちらをそういった事情に合わせて引き出しを引きながら、あわせて取り組んでまいりたいと考えております。

3つ目ですが、同じく11ページ、森林経営管理制度事業費でございます。こちらにつきましては、森林経営管理法というのが平成31年4月にできまして、これに基づきまして経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の委託を受けて経営管理することや意欲と能力のある林業経営者に再委託するということとなります。林業経営の効率化と森林経営の適正化の一体化を図るということを目的にしております。意向調査についてですが、こちらは説明会、それとパンフレットなどを利用いたしまして、森林の所有者に制度の概要や趣旨を説明した上で意向調査を実施して回収したいと考えております。

市としましては、この意向調査の結果をもとに森林の現地調査などを行った上で、集積計画というものを策定することになります。周辺の森林の委託が得られないという場合もございますので、効率的な経営管理が進められない場合は、直ちに計画策定には至らないというケースもありますので、慎重に進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要書3ページ、ユネスコ無形文化遺産活用推進事業についてお答えします。

まず、GPSの活用につきましては、山あげ祭のみこし及び全6町屋台にGPS端末を取りつけ、インターネットを通じてリアルタイムに居場所等を発信する事業でありまして、大変好評であったことから、今年度も同様の運用を図る予定でございます。

次に、常磐津のわかりやすい現代用語の電光掲示板採用などの支援策を検討はしてはどうかというところなんですけれども、実は本年度、文星芸術大学との連携によりまして、常磐津の漫画によるわかりやすいパンフレットをつくりまして、栈敷席に座る方に配布したところがございます。電光掲示板採用などの件につきましては、まず御意見として受けとめまして、山あげ保存会との意見交換をさせていただければと考えます。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 神野学校教育課長。

○学校教育課長（神野久志） 私からは、概要書5ページの放課後子ども教室推進事業を学校地域協働本部及び地域コーディネーター設置を踏まえて見直すという部分について、生涯学習課と連携してやっている部分がありますので、お答えいたします。

現在、学校教育課と生涯学習課でコミュニティ・スクールの導入に向けて準備を進めておりまして、コミュニティ・スクールについては、学校運営協議会を設置した学校ということで、今のところ烏山中学校区ということで、烏中、七合小、境小、烏小の4つの学校の一くくりと、南那須中学校区ということで、南那須中学校、荒川小、江川小の3校ということで、その2つの枠組の中で学校運営協議会を設置するということを目指しております。この学校運営協議会は、保護者の代表、地域住民の代表、地域コーディネーターとか、それから学校関係者ということで教員も入るんですが、そういった皆さんで構成するもので、学校の運営の基本方針の承認等を行っていくものということで考えております。その中で、関係者で集まったときに小中一貫として取り組んでいくテーマの中で、例えば子供の安全とか、それと含めまして、今回の放課後子ども教室事業の推進について検討するとか、その熟議という形で議論を交わしながら、お互い意見交換して、どういったものがあるかというものを決めた上で、各学校の協議会で今度は保護者とか地域の皆さんを巻き込んで、そのテーマに基づいて事業を推進していくということで考えております。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） 私は、概要書の12ページ中ほどの住環境の充実、都市計画総務費、都市計画マスタープラン改定業務委託経費等399万8,000円、こちらは、この金額につきましては、都市計画総務費ということで、費用の中身は都市計画の審議会の報酬とか、会計年度任用職員の人件費等が含まれた総額が約400万円ということで、実際マスタープランの委託費用は、13ページの右下の小さい表の中ほどの改定業務で170万円を計上させていただきました。なぜやるかという、都市計画マスタープランというのは、市町村の都市計画に関する基本的な方針ということで、おおむね10年以内の見直しを法令等で義務づけられているんですが、私どもは、見直しの時期が平成30年に来ていたんですが、そこで何回も説明している立地適正化計画という、こちらは特別措置法ということで、マスタープランの。わかりやすく言うと、都市計画マスタープランというのは、那須烏山市の場合、那珂川の西側全部を計画する都市計画上の計画なんですが、立地適正化計画というのは、例えば大金駅、烏山駅を中心とした限定的な計画ということで、そちらの整合性を図らなくちゃいけないの

で、先に立地適正化計画を私どもはやっていて、それに今度合わせた形で改めてマスタープランを改定するという事です。

あと、内製で策定できないのかということなんですが、13ページの右下の委託費を約170万円計上しているんですが、こちらは通常民間のシンクタンク、コンサル等に委託すると400万円から500万円かかる経費で、それを私どもは幸い、優秀なスタッフを抱えていますので、内製をほとんどということで、本当に節減を図っているということです。

○議長（沼田邦彦） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 一通り聞きました。

家計簿は、課長から話を聞きましたけども、やっぱりこれは変なので、ぜひ私が言うようなことを検討してほしいと思います。

それと、保育所の職員の関係、これは見通しが立っているので安心しました。了解です。

あと、なすからブランド6次、これは、まちづくりという観点が今までそういうのではないと思うので、そういうやつも含めてぜひ検討してほしいというエールを送りますので、よろしくをお願いします。

次に、ユネスコのGPSはわかりましたけども、例の掲示板、これは継続してぜひ実現に向けて検討を続けてください。これは要望です。

それと、4つの公民館、烏山地区の。これは反対が出ないように、スムーズにうまく進むようにぜひお願いしたいと思います。

それと、コミュニティ・スクールに関しては、これから経過を見たいということなんですけども、お願いとしては、ほかのところのまねではなくて、今独自のよう話があったので、ぜひそういうところを強く要望して、メンバーで論議するように、これも期待します。

それと、長者ヶ平の官衙、これは本当に情けないので、ぜひ実現するようにお願いしたいと思います。

あと、農地集約、これは担い手の話なんですけども、これも大いに期待するところなので、前向きにどんどん進めてほしいと思います。

あと、森林経営、これは意向の話なんですけども、これも長年の懸案事項なので、うまく進めてほしい、これも要望だけです。

それとマスタープラン、内製、優秀な職員を使って、これも進めてほしいと思うんですけども、委託と書いてあると、また外かと思っちゃうので、こういう質問をしましたけども、ぜひ頑張してほしいと思います。

男女共同、これは市長にもお願いですけども、わくわくするような、そういう検討をやって、全ての予算が効果的に進むようにぜひお願いしたいと思います。

以上ということで、今回の、どちらかといったら、こうしてほしい、こうすべきだという提案型にしましたけども、ぜひ実りあるものにしてほしいと思いますので、それがどうなっているかというのは、また次の機会に質問したいと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） それでは、概要版中心で、最後に1点予算書からもあります。

最初に、13ページ、総合政策課、国土強靱化地域計画策定支援業務委託とあります。今後の進め方について伺いたいと思います。

それから、13ページ、今度まちづくり課です。コミュニティ助成事業費500万円、次年度の対象地区内容について伺いたいと思います。

同じく13ページ、やはりまちづくり課、まちづくり団体支援事業費125万2,000円、まちづくりチャレンジプロジェクトに新たに応募する団体があるのか、または予想される団体はあるのか伺いたいと思います。

続いて、概要版11ページ、農政課、中山かぼちゃブランド力向上支援事業費35万円、具体的な助成内容について伺いたいと思います。

11ページ、同じく農政課、農林水産特産物開発事業費20万円、前年度は50万円だったんですが、縮小の理由について伺いたいと思います。

それから、概要版5ページの商工観光課、ベンチャープラザ那須烏山、本年度をもって廃止とありますけども、跡地の利活用について何らかの計画ができたかどうか伺いたいと思います。

同じく5ページ、商工観光課、長峰ビジターセンター、令和2年度は休館とあります。令和3年度以降についてどのような検討、協議をしているのか伺いたいと思います。

同じく5ページの商工観光課、商業振興資金貸付事業、事業継承資金を創設とあります。内容とか金額について、もしくはどれだけを想定しているのか伺いたいと思います。

最後に、予算書の79ページ、都市建設課、住宅・建築物安全ストック形成事業費、これは木造住宅の耐震改修助成費と思うんですけども、前年度より548万円増となっています。事業内容について、それと実績について伺いたいと思います。

1回目はそういうことですので、よろしくお願いします。

○議長（沼田邦彦） 石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） 概要版13ページの国土強靱化地域計画の策定支援業務の内容についてお答え申し上げます。

地域計画につきましては、国において既に国土強靱化基本計画、また県においても同計画をつくっておりますので、市が作成する場合については、国、県の計画に沿った内容になると思

っております。具体的な進め方については今後になりますけれども、多方面からの御意見を聞いた上で、リスクシナリオの把握に努めていく必要がありますので、市の中では防災会議や水防会議、また関係団体等の方の意見を聞きながら進めていこうとは思いますが、年度内の作成を目標としておりますので、余り時間がない中で進めるようになりますので、事務局で原案をつくって御審議願うという形になるかなと思っております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） それでは、概要13ページ、コミュニティ助成事業についてお答えします。

現在、2団体を予算上計上しておりまして、250万円の2団体を計上しております。今現在、最終的な決定伺いが来ておりませんので、2団体の名称は今の時点では差し控えさせていただきますが、浴衣等の新調を考えているところでございます。

まちづくり団体支援事業費でございますが、現在、各課におきまして、課題となっている事業の抽出を行ってございます。各課から上がってきた課題をもとに、今後、4月以降ですが、まちづくりチャレンジプロジェクトのテーマ準拠型、テーマに合わせた事業を展開していく団体を公募する予定になっております。どのような課題が出てくるかは今精査中ですので、4月以降のお知らせ版等で周知してまいりたいと考えております。ちなみに、昨年度、令和元年度につきましては、農政課からユズ畑の有効活用ができないかということで、まちづくり団体がユズのジュースを商品化しまして、今販路拡大に向けて動いているところでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 11ページ、中山かぼちゃブランド力向上支援事業でございます。こちらにつきましては、2つの予算を計上しております。

まず、1つ目ですけれども、中山かぼちゃペースト学校給食提供に当たっての材料費でございます。学校給食用に年3回のペーストを提供しておりまして、市とJAなす南との協働事業で実施しているものでございます。こちらにつきましては、15万円の予算化をしております。

それと、生産農家に対する補助金を計上しております。まず1つ目ですけれども、新規栽培農家に対する支援補助金ということで、1ヘクタール当たり5万円の補助を出しております。それと規模拡大農家に対しましても、支援補助金といたしまして、同じく1ヘクタール当たり5万円の補助を出しております。

それと、もう一つですけれども、農林水産特産物開発事業費についてですけれども、こちらは縮小の理由ということなんですけれども、一言で言うと、実績が上がりませんでしたので、

当初としましては、規模を縮小して計上させておりますが、要望があれば補正対応で考えております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要書の5ページです。ベンチャープラザ那須烏山につきましては、今のところ跡地の利用について計画はございません。

次に、同じ5ページ、長峰ビジターセンターでございます。こちらにつきましても、現時点においては全くの白紙の状態となっております。改めて令和2年度に栃木県及び那須烏山市において、引き続き活用方法の検討、協議を進めていくこととなっております。令和2年12月を目途に、令和3年度の方針を決定する運びとしているところでございます。

同じく概要書5ページ、商工振興資金貸付事業費でございます。事業承継に当たって資金面での支援を目的とした融資制度を追加することとしております。具体的には、これから事業承継計画を策定しようとする者、事業承継計画に基づいて事業承継に取り組む者、承継後の経営の安定化等に取り組む者等を対象としまして、事業承継計画の策定の委託資金、事業承継に不可欠な議決権の株式事業用資産を取得するための資金、事業承継等の事業計画を実行するための運転資金及び設備資金を用途とした融資を行うものでございます。貸付限度額は2,000万円としまして、貸付利率は1.3%から1.9%、一般資金と比べて0.2%安い利率を設定しているところでございます。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） 私は、予算書の79ページ、住宅・建築物安全ストック形成事業費について御説明申し上げます。

こちらは、国が進めている民間の木造住宅の耐震化を進めるということで、昭和56年5月31日以前の旧規格でつくっている民間住宅を改修したり建て直しするときに、国の補助金と県の補助金、あと市の補助金ということで、一般住宅の耐震化を進めるという事業内容でございます。こちらは今回補正して、今年度の実績は7件なので、また7件を計上させていただきました。あと、国の動きとして、令和2年度はこのまいくんですが、令和3年度以降が交付金等の削減の対象になっているものですから、駆け込み需要なんかが見込まれるんじゃないかということで、今年度の決算見込額ベースで7件ほど計上させていただきました。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） おおむね理解はしたところでございますが、国土強靱化地域計画策

定を一日も早くして、災害対応していただきたいと思います。

あと、まちづくり課のコミュニティ助成は2団体ということで、わかりました。

まちづくりチャレンジプロジェクトなんですけども、今団体が少ないような気がするんです。最初はいっぱい出たんですけど、今余り出てこなくなったということも考えると、もう一度事業のあり方も考えていただいたほうがよろしいのかと思いました。

それから、中山かぼちゃなんですけど、農政課の。今おっしゃられた給食ペースト、それから生産者への補助金、これでブランドが向上するのかと私は疑問に思います。やはり新しい仕掛けが足りないような気がします。中山かぼちゃとさんざん叫ばれていて、正直、感じとしてブランドになっているのかという気がします。思い切った新しい仕掛けがもう一工夫必要なんではないかと、課長も災害復旧に忙しいと思いますが、これもまた別な仕事ですから頑張っていて、ぜひ前に進めていただきたいと思います。

それから、農政課の農産物開発事業費は、実績がなかったと言うんですけども、これも重要な施策ですよ。新しい特産物の開発というのは、縮小というのはちょっと残念だと思うんです。逆に拡大しないといけないんじゃないかと、私はそう思います。新しいものをつくるには、なかなか時間もお金もかかりますから、実績がないからといって、果たして縮小してしまっているものかと思うんですが、その辺をもう一回聞いてみたいと思います。

それから、ベンチャープラザなんですけど、予定がないという話でした。今JAさんで直売所をやりたいと言って土地を探していたりします。実際探している。市の「まちの駅」の構想、山あげ会館付近を「まちの駅」にしようと、そういう構想にもぴったり合うんじゃないかということですから、その辺も確認していただいて、前へ進められるものであれば進めていただきたいと思う、ちょっと狭いかもかもしれませんが。

それから、商工観光課さんの長峰ビジターセンターなんですけど、あそこには物すごくすばらしい天体望遠鏡があるんです。何百万円もする天体望遠鏡があるんです。それから、こういったすごい機器がそろってまして、観望会も今まではやられていました。そういったものを活用して、一時星空が日本で一番きれいだと言われていた大田原市がそんなことを言われていました。当然我が市もてっぺんにありますから、非常にきれいですよね。ですから、そういうのもっと。これを廃止してしまうのは、本当にもったいないと思うんですよね。天文部とか、そういった学校の組織がありますから、そういう人たちにぜひ利用していただくような設備があったらいいんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

それと、すみません。文言の話なんですけど、事業承継と事業継承って同じですよ。正しくは承継ですよ。継承じゃないですよ。残念ながらこちらには、細かいことなんですけど、予算概要には継承となっているんですが、承継が正しいですよ。これから文言を使うときに

間違えるといけないので、一応聞いておきます。

一応そんなところで、最後の都市建設課の事業については、7件あったと言うんですけど、私たちは、すみません、そういった実績があって、どんなところをやられているのか、わからなかったんですけど、具体的なお話というのはいただけるのでしょうか。あれば。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） まず、農林水産特産物開発事業費につきましてですけれども、実績がなかったというのは確かなんですけども、市民の方から、こういったものはどうですかということで、窓口には市民の方が考えた商品を持ってきている方も何名かいらっしゃいます。そういったことがなかなか具現化できていないというのがあります。どうしても個人だけでするので、手いっぱいになってしまうという問題です。そういった問題がクリアできれば、より具体的な商品開発ができるかと思えます。ですので、そういった意欲のある方をなくさないように対応を今後考えていきたいと思っております。

それと、もう一つ、先ほど中山かぼちゃの答弁の中で、補助事業、補助金のところでの説明ですけれども、面積を私は1ヘクタールと申し上げてしまったんですが、こちらは10アールの間違いでございます。大変申しわけございませんでした。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） ベンチャープラザ那須烏山につきましては、今後市内部で検討していきたいと考えております。

次の長峰ビジターセンターにつきまして、現在天体望遠鏡がそこには保存されております。天体望遠鏡自体は県の持ち物になっております。現況ここ数年の利用形態としましては、天体観察をされる方が、あそこから県の持ち物をお借りしまして、大田原市のふれあいの丘に運び込み、そこで天体観察をしている状況でございます。それらについても、今後も協議の中で検討してまいりたいと考えます。

最後の事業継承と承継なんですけど、事業承継という形になりますので、御了承ください。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） これはあくまでも民間の個人の住宅を建てかえるということで、補助金ということで、具体的な個人名は控えさせていただきました。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） ベンチャープラザで、普通財産として今度うちで管理ということになるんですけど、今利用している方が、事業計画の中で、あと少し使わせくれというようなこ

とがありまして、今雨漏りとかが結構ひどくて、修繕はしないんですが、継続して壊すまでの間、大体2年ぐらいだと思うんですが、それぐらいまでは使いたいという話があるものですから、そこを調整しながら今後のあり方について検討してまいりたいと考えております。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） まちづくり団体支援事業費の中のまちづくりチャレンジプロジェクトでございますが、平成27年度から第1期の地方創生総合戦略の中で掲げられた事業でございます。今年度でちょうど終了します。翌年度も新規として1年のテーマ準拠型というもので計上してございますが、また自立型提案であれば、3年間という制度はまだ生きておりますので、令和2年度において、どのような団体継承がいいのか、団体の事業がいいのか、よく検討してまいりたいと思います。

以上です。

○10番（相馬正典） 了解です。

○議長（沼田邦彦） よろしいですか。

ここで暫時休憩いたします。再開を午後2時20分といたします。

休憩 午後 2時12分

再開 午後 2時20分

○議長（沼田邦彦） 休憩前に引き続き会議を開きます。

総括質疑を続けます。

11番田島信二議員。

○11番（田島信二） それじゃ、つまんで質問いたします。

予算書からお願いします。19ページ、法定外公共物使用料16万円、23ページ、自衛官募集事務委託金2万7,000円、あと77ページ、道路整備費1億4,750万円、あと辺地道路整備事業費8,020万円、109ページ、浄化槽設置事業補助金1,883万6,000円、JAなす南宮農部会補助金50万円、狩猟免許取得費用補助金3万円、最後に、創業者支援事業費補助金200万円。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小田倉都市建設課長。

○都市建設課長（小田倉 浩） それでは、私から、予算書の19ページ上のほう、法定外公共物使用料16万円の説明を申し上げます。

こちらは、ちょうどその上の段、今回占用料の改定で議決いただいた、道路占用料というのが266万円とあるんですが、こちらは市町村道に東京電力とか、例えばNTTとか、そちら

の占用料ということで、その下の法定外公共物使用料というのは、いわゆる認定外道路、道路法の道路じゃない市町村管理の東京電力とかN T Tの占用料の16万円を計上しているわけでございます。

続きまして、予算書の77ページの道路整備費、同じく辺地道路整備事業費なんですが、こちらは予算の概要書の12ページをお開きください。中ほどの道路交通網の整備ということで、道路整備費西野三箇線外6カ所ということで、合計7路線の道路整備を計上させていただきました。

次の辺地道路整備事業費というのは、下にある2路線で下川井柏崎、田野倉曲畑と2路線、こちらの事業費について計上させていただきました。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） 私は、予算書23ページの自衛官募集事務委託金について説明させていただきますと思います。

地方自治法に基づきまして、自衛官の募集事務の一部を法定受託事務ということで、市町村でも行うこととなります。志願票の受理と広報宣伝、あとは資料の提出という部分が市町村で行うものでございます。これに伴う費用として2万7,000円、ずっとこのところ毎年同じなんですが、2万7,000円ほどいただいているということでございます。

○議長（沼田邦彦） 佐藤上下水道課長。

○上下水道課長（佐藤光明） 予算書109ページ、浄化槽設置事業補助金につきまして、1,883万6,000円計上いたしました。前年に比較しまして422万2,000円の減でございます。昨年度当初設置は60基を見込んでおりましたが、2月末現在で47基の申請でございましたものですから、今回の議会におきまして減額補正したところでございます。令和2年度当初につきましては、余り欲張らずに50基ということで見込みましたので、昨年と比較して減となっておりますので、御理解をお願いいたします。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） J Aなす南営農部会補助金50万円ですが、J Aなす南に19の営農の部会がございます。そちらに対しまして合わせて50万円ということで補助金を出しております。

それと、狩猟免許取得費用補助金3万円でございますが、こちらは狩猟免許の申請手数料1万円のうちの2分の1の補助をしております。当初では6人分こちらを見込んでおります。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 予算書110ページ、創業者支援補助金200万円について御説明いたします。

こちらは、市内で創業する個人、または法人に対しまして、創業に要した経費を補助率2分の1、上限50万円で補助するものでございます。令和2年度につきましては、4件の補助を見込んで200万円を計上したところです。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 11番田島信二議員。

○11番（田島信二） それじゃ、また質問いたします。

自衛隊に入隊した実績というのは何名ぐらいいるのでしょうか。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） 今のところ平成29年、30年につきましては、3名ずつ入隊しています。ただ、ことしの春、入隊者につきましては、残念ながらゼロでございました。

○11番（田島信二） 了解しました。

○議長（沼田邦彦） 次、質疑ある方、お願いいたします。

12番渋井由放議員。

○12番（渋井由放） 私だけが予告をしていないようでございます。1点だけ。

まず、予算書の92ページ、荒川体育館の解体というのが出ておりまして、荒川体育館の現在の固定資産税の評価額、これを教えていただきたいと思っております。今すぐ出ないのであれば、私がここでやめまして、次にお願いしたいと思っておりますので、調べて出してください。

○議長（沼田邦彦） 澤村税務課長。

○税務課長（澤村誠一） 固定資産税の評価額につきましては、持ってございませんので、後でお知らせしたいと思っております。

○議長（沼田邦彦） 渋井議員、よろしいですか。

○12番（渋井由放） はい、了解。

○議長（沼田邦彦） 13番久保居光一郎議員。

○13番（久保居光一郎） 私は、通告書を提出いたしました8項目についてお聞きしたいと思っております。

まず初めに、ほとんど概要版なんですけど、1ページから4ページまでに、第2次総合計画基本目標として、各種施策及び事業51項目が入っていると思っております。質問の前に調べてみたんですが、文面1ページの一番最初にあるのが、新規認定こども園施設整備費550万円と書いてあって、下の説明文を見ると、充実を図る、その次の新生児聴覚検査助成事業費、これも文面を見ると充実を図る、その下も充実を図る。これは余談ですけれども、図るという末尾で終

っているのが51項目のうち30あります。推進するというのが5つ、行うというのが5つ、そのほか促進する、展開する、目指す、構築する、実施する、取り組む、全て前向きに書いてあるわけで、これは当たり前のことなんですけど、こういうことを書いてあるんですけども、51項目あるわけでありまして。こういう前向きな言葉で説明文が締めてあるわけですけども、この51事業の中で今年度はどこまでやるのか、数値的なものも含めて具体的な目標みたいのが定めてあるのかどうか、もちろん定められない事業もあると思いますが、今年度は例えば人数でいえば100人ふやすとか、この活性化事業は何百人の人をふやすんだとか、経済効果をあと500万円上げるんだとか、そういう具体的な数値がある事業というのがありますか。もしあったら教えてください。また、簡単にお聞かせいただきたいと思っております。

2点目が、概要版の2ページであります。これは私が勘違いしちゃって申しわけないんですけども、防災重点ため池ハザードマップ作成事業費、これは総務課のあれかと思ったら、先ほど総務課長に聞いたら農政課の担当なんですということでした。ため池ハザードマップの作成事業をするんですけども、どのような内容なのか、簡単で結構です。

それから、これは総務課の部分になっちゃうと思うんですが、今年の台風19号の被害で、私は全協のときに申し上げたかと思うんですが、幸い大きなけが崩れはありませんでした。市内では結構山とか、がけを背負っている家がたくさんあるかと思っておりますので、そういうものについての備えは安全なのか、改めてお聞きしたいと思っております。

3点目は、概要版の3ページ、空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業、これは今までも継続でやっていると思うんですが、今までずっと継続してやってきて、新規出店者は何店舗あるのか、そして今も継続してやっているところは順調なのかどうか、その辺の現状についても伺いたいと思っております。

4点目が、同じく概要版の3ページ、企業誘致事業費であります。この説明の中には、トップセールスを含めた積極的なPR活動を展開するとありますけれども、市長は、どのような企業にトップセールスを行っていくのか、その当てはあるのか、また、これまでずっと継続して一億七、八千万円の事業費を使ってきたわけですが、それに対する費用対効果はどれほどあるのか、それについてまず伺いたいと思っております。

5点目は、同じく概要版の3ページであります。市民秋まつり、まちなか観光ルートのPRの内容及び成果についてお聞きしたいと思っております。市民秋まつりというのはどのような祭りなのか、また私もよく理解していないので、具体的にどういう形で、今後どういうふうに展開していくのが市民秋まつりなんだということも含めてお聞きしたいと思っております。

6点目が、概要版の4ページです。そのほかに13ページにも書いてあります。これは同僚議員の質問がありました。それから、言い忘れちゃったけれども、企業誘致についても同僚議員

から質問がありました。ダブる部分もあるかと思うんですけども、ひとつお願いしたいと思えます。ホームページなんですけど、これも概要版の4ページ、それから13ページにも書いてありますけれども、ホームページリニューアル事業費、これが350万円、それからホームページ管理運営費のところには746万2,000円とありますけれども、この746万2,000円にホームページリニューアル事業費も入っているのかどうか。

ホームページは、本市としては、日々刻々といろんなPR、観光の部分もそうでしょうし、それから保健福祉関係もそうでしょうし、教育についてでもそうでしょうし、いろんなメッセージを発信する、これは今回の一般質問で荒井議員が市長に質問したとき、紙媒体に頼らないで、ホームページとか、そういうものというような内容の質問をされたかと思うんですけど、ホームページのリニューアルとか、管理運営費に七百何十万円もかかるのであれば、そういうホームページをつくれるような、恐らく教室があると思うんですよ。1年間に延べ1カ月間になるのか、1年でわかるようになるかわかりませんが、1人及び2人ぐらい職員の中からホームページを組みかえられる人を育成したらいかがでしょうか。これは全部外部委託じゃないですか。その辺も聞きたいと思っております。

それから、7点目は、消防費でございます。消防水利管理費について、昨年度は559万4,000円でした。今年度は230万円で、差し引き329万4,000円を減額しているんですけど、これは先ほど総務課長にお聞きしたならば、去年までで整備が終わった部分があるので、減額になったということなので、それがそのとおりであれば、そういうことで減額になったという答弁だけで結構でございます。

最後の質問が、予算書では73ページと111ページに書いてあります。概要版は12ページを見ていただくとわかりますけども、これも同僚議員からの質問があったかと思えます。那須烏山市観光協会の補助金です。前年度と比較して310万円の増額になっておりますけども、これは恐らく地方創生関連の国の交付金等が出て、コンサルタントに関する費用も含まれているかと思うんですけど、観光協会、山あげ会館と龍門ふるさと民芸館を指定管理して12年ぐらいたつかと思うんです。その間に幾度か改善命令といいますか、それを受けてきているところです。それで、いろいろ改革に向けて一生懸命頑張っているんだとは思いますが、今までは、観光協会の仕組みが、私もやったことがありますけども、無報酬なんですよ、会長も誰も、職員さん以外は。それで観光協会員がいて、観光協会員の方から年間2,000円というふうに会費を取っているわけです。そうすると、そういう協会員のためにも一生懸命、役の会長さんとか、副会長さんとか、理事さんをはじめ会員のためにも、もちろん市内の観光の発展のためにも、やらなくちゃならないというのが本分だと思うんですけど、その辺のモチベーションがずっと低いのかと、それを行政は毎年、観光のPRを行う、観光の拠点とする、山あげ

会館は拠点とするとか、いろいろおっしゃっていますけども、ずっとただらただら同じになって、外部の先生に聞いたらば、全くなっていないと。ただ、12年前からやっているわけですから、とっくに気づいていいのかと、今回は最後の正念場であるのかと思いますけれども、その現状についてお伺いしたいと思います。

以上、1回目の質問を終わります。

○議長（沼田邦彦） 石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） 概要版の1ページから4ページまでの総合計画目標に沿った51項目ということでございますが、項目の51は、あくまでも総合計画の基本目標に分類した事業を51項目載せたということですので、第2次総合計画では、基本目標5に政策20、政策の柱は62、それぞれそれに伴う主な事業等242を総合計画で挙げてございますので、今回の1から4ページまでの概要版につきましては、それを達成するための予算ということで御理解願いたいと思います。

ただ、それぞれの事業にはそれぞれの目標値はあると思いますが、51項目になりますので、個別にお問い合わせいただければありがたいと思います。

あと、ホームページです。ホームページ管理費が746万2,000円で、その中に350万円のリニューアル経費は入ってございます。その差額につきましては、いわゆるランニングコストでございまして、保守管理委託料とシステムの使用料がほとんどですので、こちらを自由に改修するよというのは、使っているシステムですので、こちらで勝手にはいじれない。ただ、データ更新とか、見やすくレイアウトし直すとかというのは、こちらで今度できるようにするために全面リニューアルしたいと思っておりますので、見やすかったり、操作しやすかったりするようには心がけたいと思っております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 防災重点ため池ハザードマップ作成事業費についてお答えいたします。

昨年度、選定されました、市に24カ所防災重点ため池がございます。昨年、皆様には、ため池が崩壊した際に大まかに浸水区域をお示ししておりますが、来年度、国100%の補助で、再度精度を上げてハザードマップをつくることを考えております。そちらを予算化しておるのでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） 今のところで、土砂崩れ関係が追加でございました。

今の防災ハザードマップにつきましても、土砂災害警戒区域が示されたハザードマップとなっております。そちらのエリアに入っている方については、雨量等にいろいろ注意しながら避難等も考えていただくことを今のところ進めておるところでございます。

台風19号の被害では、大きな被害はございませんでしたが、幾つか被害の状況は聞いております。民家ののりがもし崩れた場合は、うちのほうで10万円ほどの補助がございますので、そちらを利用していただくということもやっているところでございます。

それと、消防費の水利管理費でございますが、令和元年度の予算については、道路改良とか老朽化に伴いまして、防火水槽3カ所ほどの解体の費用を見ておりました。令和2年度につきましては、こちらは予定していませんので、消火栓の修繕等の予算のみの計上とさせていただきます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要書3ページ、空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業でございますが、こちらにつきましては、平成30年度に、それまで補助上限額が10万円だったところで、使い勝手が悪く活用されていなかった事実があったことから、上限を50万円に引き上げたところがございます。平成30年度は、飲食店1店、学習塾1店、鍼灸院1店の3件が申請したところがございます。令和元年度につきましては、現在のところ飲食店1店が申請しまして、4店舗とも順調に営業している模様でございます。

次に、同じく概要書3ページ、企業誘致事業費でございます。

こちらはトップセールスを含めた積極的なPRということでございますが、現時点で具体的な企業が予定されているわけではございません。従来同様、平時から各種会合等の機会を捉えまして、市長にはトップセールスを行っていただくとともに、引き合いのあった企業に対して局面を見きわめて訪問していただいて、実効性を高めるなどというところを想定しているところでございます。

企業誘致に対する費用対効果でございますが、企業立地奨励金が3年なり6年なり交付された後に入ってくる固定資産税、また対象企業の法人税、従業員の市民税など、目には見えない部分もあるんですけども、そのほか企業が立地することで多くの経済効果が生み出されるものと考えているところがございます。（「具体的に。それじゃわからない」の声あり）現在までの事業計画認定数が、約80件ございます。このうち66件に奨励金交付を行いまして、現在までをトータルすると7億円以上の奨励金を支払っておりますが、そちらについては7億円の税収があったというところになります。

また、雇用創出の関係でも効果をおさめていまして、具体的にその立地の内訳として、新規

企業が9件ございました。また、江川小や興野小学校の跡地が工場になるなど、市内事業者の増設移転立地が31件、その他太陽光が40件となっております。

次に、企業誘致の1,057万1,000円の増額の内容についてでございますが、こちらはソーラー発電所で1件、再生可能エネルギー関係の固定資産税の3年間の減免措置が令和元年度で終了しまして、来年度より通常ベースの課税となることから、奨励金の額が大きく増額することとなります。また、令和元年度中に工場増設などにより、令和2年度から新たに4事業所が交付対象となることから、増員の要因が期間終了などの要因を上回ったために増額となります。

次に、概要書3ページ、観光振興費、こちらで市民秋まつりとまちなか観光ルートのPRの内容……。 （「すみません。答弁は簡潔に。時間がなくなっちゃうので、お願いします」の声あり）市民秋まつりにつきましては、これまで別々に開催されてきました健康福祉まつりや図書館まつり、男女共同フォーラム、そして花火大会を同時に開催して、市民秋まつりという準備を図ってきたところですが、残念ながら台風19号の影響により合同開催は中止となってしまいました。しかしながら、花火大会の開催を期待する多くの市民の要望を受けまして、単独開催となってしまったんですが、商工会の全面協力のもと花火大会を開催したところです。一日も早い復旧・復興という意味で、被災された多くの方々になんらかの元気や希望を与えることができたという点においては、一定の効果があったものと考えております。

まちなか観光につきましては、まちなか観光案内サイトのリニューアル、また各種散策ルートを掲載の上PRを図ったところがございます。まち歩きマップというものを作成しまして、それによって市内観光施設のほか、県内外の道の駅に設置しまして、観光振興を図ったところがございます。

それによって、まちなか観光案内サイトにつきましては、平成30年度の3,000件ほどのアクセス数に比べまして、令和元年度は1万5,000件アクセスされたところです。しかしながら、令和元年度の観光入込み客数の集計は、現在県に報告して集計中なんですが、それらを見ますと、前年に比べましてかなり減っております。大体45万人を切ってしまうのではないかという状況でございます。これらは台風の影響ですとか、また観光施設の中で温泉が閉館したというような状況がありまして、そういったものでまた観光入込み客数が減っているところがございます。そういった意味を考えますと、さらなる観光協会との連携を図りながら体験観光ツアーの推進を図って、さらなる充実に向けて検討を進めたいと考えております。

次に、予算書的那須烏山市観光協会補助金についてでございます。（「簡単でいいですから」の声あり）観光協会の増額の310万円につきましては、先ほどコンサル費用を青木議員

のときにお答えしたとおり、コンサル費用約150万円、残りにつきましては、本来観光協会が取り組むべき営業に関する費用ですとか、新たな商品開発、また観光プロモーションを積極的に展開するための事業費として位置づけております。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 13番久保居光一郎議員。

○13番（久保居光一郎） ありがとうございます。

まず、再質問したいと思いますが、1番目の第2次総合計画基本目標が51項目あるんだけど、具体的な数値を決めてあるのかということ、総合政策課長から答弁いただきました。おおむね了解いたしました。

ただ、改めて言っておきたいのは、市役所は、市内で一番の企画、それからサービス、それからあとは事業をもって経済効果を図るとか、そういう総合商社だと思うんです。であれば、民間の企業は、1年間の営業目標とか、生産目標というのを立てれば、実際にそれをやらないと責任を問われるんですね。そういう認識でやらないと、いや、これは国から半分、3分の2もらえるんですから、もらって、それを使いましょうよ。国からもらうのも税金ですから、そういうことは重々、市長はじめおわかりになっているかと思うんですが、観光協会の部分も、観光協会会長さんも理事さんも、みんな無報酬でやるわけですね。それでも一生懸命頑張っているんだとは思いますが、いろんないい言葉は言えるんです。頑張ろう、推進する、図る、それから展開するとか、そういう言葉は使いますけども、いろんなところで。具体的に数字で見える、形で見えるような取り組みをさらにしていただきたいと、希望をお願いしておきたいと思います。

それから2番目の防災重点ため池ハザードマップ、それからがけ崩れの問題も了解であります。空き店舗についても了解であります。ただ、なかなか大変だと思うんです。商店街もさびれていく一方で。ですから、さらなる支援を、支援というのはお金だけじゃなくて、気持ちで寄り添うような支援をお願いしたいと思います。

企業誘致については、市長がトップセールスと書いてあるんですが、私は2回ほど一緒になってから、例えばという話で四季の森あたりをフラワーパークはどうですかと、それも企業誘致なんですよ。そういう点でトップセールスをしていただけるのか。私が前回質問したときには、久保居さん、知っているところがあったら紹介してくださいと言われてたんですけど、市長がそういう気があって一生懸命前向きにならないと、企業は動きませんから、私が言うだけじゃなくて、トップセールスをするということは、やるような企業が大体あるんでしょうから、ぜひそういうところも含めて私の案もお考えいただければと思います。

それから、市民秋まつりについては、大体花火が中心で、それに今までの事業をくっつけて

やっているぐらいなのかと、将来の展開が余り見えないと思いますけど、これはこれでいいです。

ホームページは、これも総合政策課長の話でおおむね了解でございますけれども、ただ、そういうホームページをある程度管理もできる、それから変更もできるような職員も1名、2名育成したのがいいんじゃないのかと私は思っております。

消防費、消防水利管理費については了解であります。

それから、那須烏山市観光協会の補助金、これについては、先ほども言いましたけれども、とにかく行政が、誤解を恐れずに言いますけれども、指定管理をしてから12年たっているわけです。それはずっと改善されないままきいているのかと、いろんなことは言いますけど、シティプロモーションとか何とかと言いますけど、ずっとそのまま。山あげ会館の改修費は、合併してから3億5,000万円もトータルで維持改修費を使いながらやっているだけなのかと、だから今度はぜひそういうことも、先ほど言ったように、市は総合商社ですから、できるだけ効果の上がるような、活性化するようなあれにしていきたいと。

観光の入込み数も、残念ながら、前にもお話ししたように、県下で後ろから3番目ですから、もっと順位が上がるように、うちはユネスコの無形文化遺産の山あげ祭もあるわけですから、もっと経済効果があるような事業を展開していただきたいと思って、答弁は結構でございます。終わります。

○議長（沼田邦彦） 15番中山五男議員。

○15番（中山五男） それでは、まず予算書の中に記載があるのか、ないのか、理解できなかったところから3点御質問したいと思います。

まず1点目、新庁舎整備に関する予算についてであります。前年度当初予算の中で庁舎整備等調査業務委託料50万円を計上いたしましたのですが、いまだ未執行と聞いております。そこで、新年度予算の中で新庁舎に関する予算を注目していたところ、見当たりません。市長には、最重要事業でありながら、当初予算に計上されなかった理由と、今後庁舎に関する予算を令和2年度の補正予算の中で計上する考えがあるのかどうか、これがまず1点。

2点目は、人工知能A Iの導入に関する予算がこの中に含まれているかどうかであります。

今期定例会の一般質問の中で、私が、小学生のプログラミング教育について伺ったところがあります。その私の発言の中で、今から5年後の2025年になれば、A Iが人間のかわりに労働する時代が来ると申しました。これは決してうそでも何でもありません。これは同僚議員が私に印刷してくれた文部科学省のこの中にそのようにも事実載っております。宇都宮市では、令和2年度当初予算の中で、先端技術に関する予算を4億8,000万円も計上しているんです。本市の予算の中に、人工知能A Iの導入に関する予算というのは含まれているのかど

うかお伺いします。

次、合併特例債の件です。合併特例債の本市の発行可能額は、106億6,850万円と聞いております。そこでお伺いしたいのは、令和元年度末の発行済額と発行残額が幾らなのか。2点目は、地域振興基金造成分として12億7,300万円を積み立ててあります。この基金は将来何に利用しようとしているのか。それと合併特例債も借りましたから、利息がついていきますね。今利息は、12億7,300万円借りた部分について幾ら払っているのか、それと、一時は国債を買って多額の利息、利益を得ていたわけなんです、現在はまた違ったと思います。現在の利息というのは幾らもらっているのか。その差し引きも知りたかったものですから、お伺いいたします。

次、予算概要の中からはばかりです。20項目ほどあります。

まず、1ページの認定こども園、これは同僚議員も既に質問しているところなんです、つくし幼稚園とにこにこ保育園を統合することになると思うんですが、550万円というのは、つくし幼稚園のどこかに、にこにこ保育園の子供の部分が入所できるような建物か何かをつくるのかと思いますが、この概要といつ完成するのか、この事業関係で、これをお伺いします。

次に、民間の小規模保育事業で1億900万円ほど予算計上してありますが、この事業概要、それと市内ではゼロ歳児の預かるところが不足しているのでしょうか。このことの実情についてお伺いします。

次に、ロタウイルスワクチンの接種、このことは2月の全協の際には、接種の対象者は4月から7月の間に生まれた子供37人を見込んでいたと言いましたね。上限3万円というわけなんです、これは実際幾らかかって、そのうちの3万円なのか、補助率、それと実際この病気に感染した実績というのはあるのかどうかについてお伺いします。

次に、障がい者等の病院の送迎、これも新規事業165万円取りましたが、対象者は何人いるのか、利用方法はどのような方法をしたら利用できるのか、利用の範囲、これは市内限定なのか、本人負担がないのかどうかについてお伺いいたします。

次に、2ページなんです、中学生の部活動・学習サポート事業106万9,000円をとっております。実際部活動で指導者を必要とするような種目はどんなものがあるのか、それと実際に指導者が確保できるのかについてお伺いします。

次に、同じページにデジタル教科書1,909万3,000円計上してあります。これは費用と効果です。それとこれは全児童生徒が対象なのかであります。健康の面から、デジタル教科書の使用は各教科の授業時間の約2分の1未満にされるよう、文科省では指導していると思います。それで、健康への被害というのはあったか、なかったかについて誰が確認するのか、その辺についてもお伺いします。

次、英語コミュニケーション推進事業2,780万円、去年もほとんど同額をとってありますが、これはよその市町と那須烏山市とを比較して、何か指導方法に違いがあるのか、それと長くやっていて何か問題点はなかったかについてお伺いします。

次に、文化財の調査です。烏山城と長者ヶ平1,120万円、去年は1,300万円をちょっと超えています。これは調査をして、どうしようとしているのか、調査してから考えるのかどうか、調査はいつまでかかるのか。去年、ことしとやっていますので、いつ終わるのか、その辺についてお伺いします。

次に、国体開催の運営事業620万円、去年は470万円なのですが、具体的にことしはどのような事業に使うのか、それと、さらに来年度もこういった支出が続くのかどうかお伺いします。

次に、3ページにJR烏山線の利用促進として64万6,000円計上してあります。これは職員の出張で極力烏山線を利用しようということ計上したわけなのですが、実際の出張に対しての利用の割合というのはどうなのでしょう。どうも使い勝手が悪くて、余り職員が使いたくないというような状況でいるのか、その辺の実情についてお伺いいたします。

次に、防災行政無線6,600万円とあります。前年度の予算は1億2,300万円です。戸別受信機の導入数と単価、これは前年度の実績、令和元年度の、おわかりになりましたらば、お伺いします。

ホームページについてはわかりました。

それと、荒川体育館の4,440万円なのですが、これは認定こども園をここに設置するために土地を広く使いたいということなんだと思いますが、予算の中には解体後の整地とか舗装なんかも含まれているのでしょうか。それと具体的に何に利用しようとしているのかお伺いいたします。

次に、5ページに徴収嘱託員の見直しをするとあります。私は以前から徴収嘱託員を無用と訴えていたんですが、今回廃止するのでしょうか。これについてお伺いします。

それと、同じページ、放課後の子供の教室事業です。具体的にどのように見直しをする考えなのかお伺いします。

それと、7ページに、歳入の地方交付税41億円が計上されています。毎年私は疑問で不思議に思っているんですが、よその市町村と比較して物すごく多いので、多額なんです。ことしも25市町村の一覧表をつくりましたら、1人当たりの換算にするというと、那須烏山市は16万4,000円で、県内では第4位、それほど多額の交付税をいただいているわけなのですが、その理由と交付の内訳、交付の内訳というのは、財政状況に応じて交付されるもの、それに合併特例債とか返済、それにこの間、龍門の滝の施設、あれを4億円ほど借りるが、2億

円ぐらいは交付税で還元されると言いました。これはことしの予算には入っていないと思いますが、そういったものは実際どのぐらいあるのか、それをお伺いします。

次に、市税等の滞納繰越額の縮減策についてお伺いしたいと思います。平成30年度の決算では、特別会計を含めると、滞納繰越額が6億9,800万円を超えています。これはどうするのか、よろしく説明をお願いしたいと思います。

それに、22ページに健康診査事業として2,859万2,000円出ていました。けさの下野新聞にも、特にがんの検診率が悪いという、栃木県は、そのように出ていますが、実際去年の行財政計画の報告書を見ますと、6種類のがんの検診率は平均17.3%です。ちなみに私もこれは低いと思っています。さらに一般の健康診査も、行財政報告の中には受診者数は書いてあるんです。例えば去年の場合ですと、平成30年度の場合ですと、2,568人、ならば受診の対象者というのは何人いるのか、これがわからないと受診率がわからないものですから、これもわかりましたら、お願いします。

次に、24ページにスーパーティーチャー育成事業交付金106万4,000円、去年は217万7,000円で、ことしは大幅に縮小しました。これはある程度の効果が上がって、それほど事業費を必要としないとして縮減したのか、その実績と効果についてお伺いします。

一番最後にもう一点です。26ページにジオパークのことがあります。負担金等が相当減額されています。ジオパーク関係は、前年が760万円、ことしは129万5,000円と大幅に減っているわけなんです、今までの実績とそれに効果が上がっているのか。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 石川総合政策課長。

○総合政策課長（石川 浩） 順番に。最初に質問がありました新庁舎の予算に関してでございますが、令和2年度の当初予算の中には新庁舎の部分については計上してございません。前にも質問がありましたが、新庁舎につきましては、現在議会等の中も含めて、いろいろ議論があるところでございますので、重要事項ではあります、重要事項であるだけに逆に慎重にしたいと思っておりますので、今回当初予算には計上してございません。ある程度の方針が決定されてくれば、令和2年度中の補正予算の中で計上、対応していきたいと思っております。

次の人工知能AIの導入に関する予算についてですが、こちらにつきましても、当初予算の中には入ってございません。確かに現在AIやRBAとか、いろんな時代の先端技術の導入というのは叫ばれているところではございますが、単純にうちの市の行政内容で、先端技術が合うのかどうかという見きわめをしないと、多額な費用をかけることになってまいりますので、結果、費用対効果が上がらなかったでは済まない、その辺についてはよく見きわめた上で導入を検討したいと思っております。

次の合併特例債106億6,850万円の内訳でございます。まず、令和元年度末の発行済額と発行残高でございますが、発行済額は91億4,040万円です。発行残高は15億2,810万円となっております。

2つ目の地域振興基金造成分12億7,300万円の利子等の関係でございますが、12億7,300万円借りたものに対する利子の返済までの総額ですが、2億4,500万円ほど返還する予定でございます。それに対して、借りて10年間国債を積んでおりましたが、今現在国債は5年に移っているんですけども、平成18年当時は、利子は1年間で2,280万円ほど入っておりました。それが低金利時代になってきまして、平成27年では1,830万円の利子があったんですが、平成28年には80万円弱に急に落ちております。いわゆるゼロ金利政策等がありまして、利子がほとんどつかないという状況になりましたので、単純に申せば、返す利子は2億4,500万円ですけど、それを運用して得られる利子は2億800万円ほどということになります。また、同基金の将来運用につきましては、基金の名のとおり、地域振興基金でございますので、地域振興に資する事業ということで、現在のところの財源内訳としては、庁舎整備の中で地域振興に資する部分については、この基金を活用しようと考えてございます。

あと総合政策課関係ですが、地方交付税41億円、他の市町村に比較して多いのではないかと御質問でございますが、そのとおりでございます。自主財源比率が34%でしたっけ、今回は、低いということは、逆に普通交付税で救っていただいていると申しますか、援助していただいているということで、普通交付税の制度そのものから言えば、多いのが当然だと思っております。ただ、それをよしとするか、しないかは別問題だと思います。

交付の内訳でございますが、単純に普通交付税の仕組み的に言えば、小学校費とか、道路費とか、農業行政費とか、いろんな項目があるんですが、いわゆる一般行政の個別経費の合計としては、財政需要額の中で基準財政需要額では51億1,000万円入っております。

そのほか、借金をしたときに普通交付税で面倒を見てくれるんですと説明している中の、普通交付税に算入されているいわゆる借金の部分につきましては、11億1,200万円ほど普通交付税の中に算入されております。これはいろんな事業が入っておりますので、一個一個は言えませんが、その中でも逆に合併特例債につきましては、5億1,300万円ほどの元利償還金が交付税の中に算入されているという状況でございます。基準財政需要額合計でいえば、68億9,400万円ほどが基準財政需要額として算入されているということでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 認定こども園整備事業の550万円の内訳なんですけど、こちらは基本設計にかかる業務委託料となっております。なお、完成年度につきましては、令和2年度から基本設計、そしてさらには詳細設計、そちらを策定していく中で完成年度が決まってくるので、今のところまだわからない状態です。

次に、民間小規模保育事業で、市内で不足しているのかとの質問ですが、今回の民間による小規模保育事業所2カ所が進出となる背景ですが、未就学児における、未就学児というのは小学校に入る前、おける旧南那須町と旧烏山町の人口比率は約4対6、南那須4、烏山6となっております。特に鴻野山地区、ここの子供の出生数が多い傾向であることに起因しております。特に0歳から2歳児を注視しますと、旧南那須町と旧烏山町における利用定員数、こちらの比率が約4対1.2、南那須が4、烏山が1.2となっており、圧倒的に旧南那須町地内の0歳から2歳の子供を受け入れる枠が不足している状況にあります。

このような状況を踏まえ、鴻野山保育園では、昨年12月末に着工しまして、本年6月1日開所に向けて事業を進めておりますし、さらに三箇保育園につきましては、ことしのゴールデンウィーク明けに着工いたしまして、令和3年、ちょっと延びますが、3月1日開所に向け準備を進めているところでございます。

次に、ロタウイルスワクチン接種の中で、接種該当者数なんですけど、令和2年度1年間で見込んでおりますのが、113名を見込んでおります。そのうち令和2年4月2日から令和2年7月31日まで任意接種ということで、昨年の出生数を参考に37名ということで予算組みをしております。あと補助率なんですけど、上限3万円ということで、3万円で全額カバーできる想定でおります。

あと、感染の実績なんですけど、市内の感染実績につきましては、把握できておりませんが、厚生労働省のデータでは、就学前の子供の約半数がロタウイルス感染により小児科外来を訪れると言われております。主に乳幼児4から23カ月児、この辺が一番重症化する傾向にあるということです。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 水上健康福祉課長。

○健康福祉課長（水上和明） まず、私からは、通院支援事業の内容ということで、荒井議員の質問にもお答えしているところなんですけど、まず助成の内容です。月2往復を上限としまして、自宅から病院間の送迎にかかる運賃を全額市が助成するものでございまして、主にタクシーの利用になると思います。対象者の要件ですが、介護度3以上かつ寝たきり度BまたはCで、市税及びその他の滞納がない世帯に属する者としております。対象者には申請月の翌月分から使用できる利用券を発券する予定でございまして、利用者が現金を支払うことはござい

せん。利用する人数でございますが、約15名程度の利用を見込んでいるところでございます。

続きまして、がん検診の対象者の数ということでよろしいんですか。平成30年度の実績でございますが、胃がん、肺がん、大腸がんに関しましては、1万125人。（「いや、これは受診率の向上策についてお伺いしたい」の声あり）向上策、わかりました。向上策でございますけれども、いろいろ行っております。まず、ウェブ予約で24時間予約可能になっております。また、女性専門の日を設定したり、土日及び夜間帯も実施しております。また、乳がん、子宮がんは、集団検診以外に施設検診を実施しております。また、未受診者への再勧奨も実施しております。また、健康マイレージポイントの必須項目にもなっております。また、お知らせ版、Infocanal等での市民への周知も行っているところでございます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 神野学校教育課長。

○学校教育課長（神野久志） 私からは4つということで、まず中学生の部活動・学習サポートの関係で、部活動の種目数なんですけど、両中学校でそれぞれ10から14の部がありますけれど、この中からそれぞれ希望する5部ということで、文化部、運動部の5部を希望してもらって、それに対して宇大の学生さんでそれを教えられる方がいるかどうかということで、人員の確保はするという形をとっております。令和元年度は合わせて5つの部活動、両中学校合わせてですけど、文化部、運動部での利用となっております。

デジタル教科書の関係ですが、まず効果については、デジタル教科書を利用することによって、動画とか写真資料とか図形のデータが豊富に入っておりますので、言葉とか紙ベースの概念だけではわかりにくい学習の補助としての活用は見込まれるのかと思っております。なお、今回の事業費の中での対象は、小学生の部分ということになります。それと健康被害の部分については、デジタル教科書2分の1、紙ベースの教科書とデジタル教科書の利用ということになりますので、これについては、議員おっしゃられるとおり、今後利用時間帯等の把握をして、健康等の部分については引き続き注視する必要があるかと認識しております。

英語コミュニケーションの部分についての他市町村との違いについては、来年度から5、6年生が外国語ということで、週2時間学ぶようになりますが、今のところ塩谷南那須教育事務所管内で那須烏山市とほかで実施しているのはさくら市、それから塩谷町と那珂川町でも実施しておりますが、人員配置とか、各幼稚園と保育園での取り組みという部分については、本市のほうが、先進的に実施した事例もありまして、進んでいるというところでございます。

最後になりますが、スーパーティーチャーの関係になります。こちらについては、事業費については多少減額になっておりますが、平成28年度からの事業で福井県、それからその後、来年度は2年目になりますが、秋田県への視察ということで予定しております。小学校、中学

校の先生方ということで、派遣というか、研修をしていただきますが、具体的には例えば中学校の授業で英語の時間で、通常だと同じ学年の生徒を教えるということで、クラスが変わるといいう教え方なんです、縦割りといひまして、1年生、2年生、3年生の学年を超えた枠組みでの取り組みというか、授業を教えることで効果は上がっているところかと思ひます。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 文化財調査費についてでございます。

長者ヶ平については、現在は公有地化が凍結されていますので、進展が見られない状態でございます。烏山城につきましては、これまで烏山城の価値が調査されておりませんでしたから、文化財として価値が明らかになったということは、成果が上がったと考えております。

国体開催につきましては、実行委員会の交付金が300万円、会計年度任用職員が1名なので257万円、それから実行委員会の主な内容としては、アーチェリー競技の普及啓発、競技運営の準備費、そういったものが支出になります。来年がリハーサル、その後本番を迎えますので、今後も経費は必要となつてまいります。

荒川体育館については、設計費と解体の予算でございます。整地まででございます。

ジオパークの推進につきましては、昨年までは国の地方創生交付金3カ年の対象期間が終了となりましたので、今年度大幅の減額になります。実績と効果につきましては、ジオパークについては、二宮金次郎じゃありませんけども、今後も小さなものを積み上げて大きなものをなしていきたいと思ひております。

時間がないので、詳細はすみません。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） JR烏山線利用促進事業のうちJRを使った職員出張の内訳等についてお答えします。

平成30年度から始まりまして、400回の宇都宮出張があるという調査のもと、4分の1、100回ほどJRに切りかえるという計画でございます。各年度ともおおむね9割程度利用していることから、十分計画どおりに進んでいるものと判断しております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） 防災行政無線でございますが、ことしはシステムの構築とか、いろいろありまして、1億2,100万円ほどの契約でございます。そのうち戸別受信機については1,200台ほど購入しております。単価につきましては約8万円前後になるかと思ひます。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 澤村税務課長。

○税務課長（澤村誠一） 徴収嘱託員見直しとはという御質問でございますが、徴収嘱託員制度につきましては、合併当時から配置しております。現在まで嘱託職員において臨宅などにより市税の督促や徴収に勤務していただいております。徴収はもとより滞納者の状況などを臨宅応接により把握するなどの成果も上げてきてございます。一方で、滞納整理につきましては、矢板県税事務所管内の市町においては……。

○議長（沼田邦彦） 持ち時間の30分を超えましたので、申しわけございませんが、答弁途中ではございますが、終了とさせていただきます。

ここで暫時休憩いたします。再開を午後3時40分といたします。

休憩 午後 3時27分

再開 午後 3時40分

○議長（沼田邦彦） 休憩前に引き続き会議を開きます。

総括質疑を続けます。

16番高田悦男議員。

○16番（高田悦男） 16番高田悦男であります。ただいまより質疑を始めます。

まず、2ページ、新規、森林経営管理制度事業費498万4,000円、事業の概要、意向調査の方法、集積の面積要件についてお尋ねいたします。これは同僚議員からも質問がありましたので、重ならないように答弁をお願いいたします。

続いて、市民秋まつりの定着と継続を望む声に応じて工夫してほしい、同じく概要の3ページ、観光振興費361万9,000円、秋になって花火大会はその時期には余りないんです、ほかに。しかも、蚊に刺されないで楽しめる花火大会は非常に好評です。

続いて、ずっとダブっていますので、13ページ、新規事業の再掲で、事業の概要と実施方法についてお聞きします。先ほどなすからブランド認証品は、農政課の部分がありましたが、商工観光課の27万円、この説明をお願いいたします。

そして最後は、予算書166ページ、熊田診療所特別会計です。歳入歳出総額を4,760万円とし、前年度比152万6,000円の減額となっています。診療収入151万3,000円の減を見ているせいだと思います。運営基金からの繰り入れが750万円、一般会計からの繰入金200万円で、昨年同様950万円となっております。基金残高は、現在406万8,000円に落ち込みました。また、歳出総務費は若干増の3,414万7,000円となっております。どのような方法で診療収入の増を図るのか、そして、熊田診

療所を継続するためにもどんな工夫をしていくのかお尋ねします。現在1日当たりの外来は何人を診ておりますか。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 森林経営管理制度事業費ということで御質問いただきました。先ほど答弁した内容と重ならないようにというお話でしたが、同じものですので、同じ内容になることを御了承いただければと思います。

まず、事業の概要ということですが、現在経営管理は行われていない森林につきまして、荒れてしましまして、イノシシ等が出てきてしまうということの、そういった問題はございますので、森林を改めて生産性が上がるものということも含めて管理しておるということで、市町村が森林所有者の委託を受けて経営管理することなど、林業経営の効率化と林業管理の適正化の一体化の推進を図る事業でございます。

意向調査の方法ですが、意向調査を配布しまして回収するという単純なものなんですが、内容につきましては、御本人の住所、氏名等、あと森林等の場所、それと管理について市に任せるかどうかという、そちらの有無も調査内容に入ってくるということになります。それと集積面積の要件についてですが、こちらについては、要件はございませんので、御了承いただければと思います。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要書3ページ、観光振興費についてお答えいたします。

商工観光課におきましては、市民秋まつり花火大会への交付金としまして、270万円を計上しております。より多くの方々に来訪いただき、楽しんでいただけるよう、市民秋まつりの事務局を務めますまちづくり課をはじめとする関係各課と連携の上、にぎわいの創出を図ってまいりたいと考えます。

次に、13ページ、なすからブランド認証品についてお答えいたします。

なすからブランドは、市の優良産品等を認証品として情報発信することにより、市の知名度の向上や産業の振興、地域経済の活性化を図ろうとする事業でございます。認証品を広く市内外の方に知っていただくためのPR費用を計上しておりまして、のぼり旗作成費用としまして14万3,000円、チラシ作成費用として12万7,000円を計上したところでございます。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 皆川市民課長。

○市民課長（皆川康代） 熊田診療所の予算についてお答えいたします。

まず、166ページに歳出というものがございすけれども、歳出の大部分は、職員の人件費、先生や看護師さん、事務員の方のスタッフの人件費、それから医薬品等の医業費というものが大部分を占めております。この大部分を占めている歳出を賄うものとして、歳入というところに書いてある項目が該当するんですけれども、まず診療収入については、先ほど議員さんもおっしゃいましたように、患者数が減っておりますので、年々診療収入については減っております。それから国庫補助金として僻地診療所の補助金、こちらは前年同額の500万円を見ております。

そこで、次に出てくる繰入金でございすけれども、一般会計からの繰入金というものが赤字を補っている部分でございす。こちらの推移としましては、まず、平成29年度は900万円一般会計から出しておりました。平成30年度は400万円、令和元年度は250万円、令和2年度の予算につきましては、200万円を計上しているところであります。そのほかに基金がございすので、基金から充当しております。基金の内訳としましては、平成29年度は基金からは繰り入れておりませんので、ゼロ円、平成30年度は1,000万円、令和元年度は700万円だったんですけれども、3月の補正予算で150万円を戻しておりますので、実際は550万円を繰り出したということになります。令和2年度の予算につきましては、当初予算では750万円を計上しております。先ほどは、診療収入を上げないことには上がってこないということなんですけれども、患者数につきましては、近隣の高齢者の方が患者さんとしては実際多い状況でございすので、これを上げていくというのは、なかなか厳しいものがあるのかとは考えております。

あと、一般会計については、年々少なくして繰り入れはしておりますけれども、残高を充てていることで賄っているというのが現状でございす。基金の残高というものにつきましては、残を考えますと、今後一、二年で基金は枯渇して、一般会計からの繰り入れに頼らざるを得ないという厳しい経営状況であるということが現状でございす。

また、こちらについては、スタッフの人件費というのも大きなものでございすけれども、先生については、市の職員ということでございすから、人件費について削減するとか、そういうことについては、市民課だけで考えられることではございせんので、今後とも何とか近隣の方にかかってもらえるような運営をしてみたいと考えております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 16番高田悦男議員。

○16番（高田悦男） 順を追って再質問します。

森林経営管理制度に関しましては、間伐制度、あるいはいろんな事業を取り入れる場合に、必ず集積の面積要件があるんです。例えば5ヘクタール以上の集積面積がないと間伐はできな

い、そんな事業が多かったものですから、今回の場合はその面積要件がないということによろしいんですね。というのは、市内の林業家は平均1ヘクタール以内なんです。ですから、面積を確保するだけでも非常に困難な状況であります。

市民秋まつりにつきましては、開催日時がわかれば教えてほしいと思います。

最後に、熊田診療所ですが、先ほども言いましたように、なくさないための工夫をしなければならぬと思っております。それで、先代の医師の場合は往診もしたんです。そして診療収入を上げて、先生の給料も上げてもらったんですが、そういういきさつもありますので、ぜひ往診の実施なんかはいかがでしょうか。

○議長（沼田邦彦） 大鐘農政課長。

○農政課長（大鐘智夫） 市内の所有者の方が1ヘクタール以内平均だというお話を現在初めて耳にしたものですから、今後、詳細はまだ全体的な計画ができておりませんので、詳細がわかり次第そういったものを一つ一つクリアしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 令和2年度の市民秋まつりにつきましては、現在事務局をはじめ関係各課との打ち合わせを始めているところで、開催日時につきましては、今後決定してくると思われれますので、決定し次第また周知してまいりたいと考えております。

以上になります。

○議長（沼田邦彦） 皆川市民課長。

○市民課長（皆川康代） 往診についてですけれども、今現在も往診はやっておりますけれども、件数が大変少ないというのが現状でございます。

○議長（沼田邦彦） 16番高田悦男議員。

○16番（高田悦男） それでは、農政課は了解いたします。

花火大会はおよそ10月ごろでしょうか。そう理解しておきます。

最後の診療所の取り組みであります。往診以外にも診療増を図る、あるいは近所だけではなく、いろんなところから来られるような工夫を、ぜひ足の確保をしてもらいたいと、このように考えております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 答弁はよろしいですか。

○16番（高田悦男） 答弁はいいです。

○議長（沼田邦彦） 17番平塚英教議員。

○17番（平塚英教） それでは、最後の令和2年度の市の当初予算に対する質問になると

思います。

まず、43ページということで、運転免許証自主返納者支援事業費というのがありますが、先ほど同僚議員のほうで質問しまして、中身についてはわかったんですけども、53ページの高齢者福祉事業費366万円とか、老人クラブ活動支援事業費125万8,000円というのがありますけども、簡単に言うと、やすらぎ荘、これを2,500万円かけて解体したんでございますが、私たち年寄りに対して、どんどんそういう公共施設をなくして、心のよりどころがなくなっているというような感じがあるんだそうです。それで、自主返納された方も、タクシー券を、先ほど担当課長にお聞きしましたら、返納時に1万5,000円分いただけるということなんですけども、これを全部使い切れる人もいるんですが、中には大分残っちゃっている人もいるそうです。そして福祉タクシー券も同様に残ってしまう人がいるということなので、できれば烏山線を利用するとか、あるいはマイクロバスを利用するとか、そういうことで市内外のそういうものを巡る、それこそ、やすらぎのお年寄りの皆さんが集まって、今は新型コロナでだめですけども、そういうのが収束した後は、福祉タクシー券を使って、お年寄りの憩いの場を与えるようなことができないかどうか、それが1点目でございます。

2点目は、47ページに旅券発行事務管理費というのがあるんですが、これは恐らくパスポートの発行事業かとは思われるんですが、機関委任事務で県のものが市におりてきたんだらうと思うんですけども、おおむね年間のパスポートの発行状況というか、それがわかればお示しいただきたいと思います。

次に、同じ47ページなんですけども、市税徴収事業費998万7,000円、固定資産税課税客体整備事業費799万9,000円とあるんですけども、特に下のほう、固定資産税の後に言ったほうです。客体整備事業費というのは何のことなのか説明いただければと思います。

それで、市税関係なんですけども、当然納付書を前もって渡して、それで納付してもらいますが、延滞しますと当然督促が行きますね。それが2回行ったらば、自動的に年金か何かからもぼんと引かれちゃうということで、私はかなりお叱りをいただいたんです。機械的じゃなくて、例えば家屋とか土地の名義なんかが、御主人じゃなくて、お父さんの名義になったような場合には、当然お父さんの年金口座からぼんと引きますよね。それで、おじいちゃんの医療費とか、そういうのに困ったということで怒られたりしたんです。したがって、打撃的でないような方法で、きちんと徴収いただくというコミュニケーションをとっていただきたいというのが3点目でございます。

次に、51ページでございますが、社会福祉総務費ということで、説明の欄に自立相談支援事業費216万8,000円、その下には住居確保給付費ということで21万4,000円あるんですけども、これはどういう内容なのか、その事業内容や実施状況を説明いただきたいと思

います。

53ページですけれども、真ん中ほどに、高齢者福祉費の中で家族介護支援対策費というのが111万2,000円載っているのですが、家族介護支援対策というのは、どういう事業なのか説明をお願いできればと思います。

次に、55ページでございますが、児童福祉総務費の中に子育て支援短期利用委託費というのが15万円、その下に児童虐待防止対策費というのが59万8,000円載っていますが、短期というのはどういう利用委託事業なのか、その下の児童虐待関係でございますが、これも昨年の当初予算で同様の質問を私はしておりまして、そのときには児童虐待防止用のリーフレット作成、それを幼稚園、保育園、小学校、中学校の関係者に配布するというようなことでもございました。これを作成して配布した後、いろいろと情報交換とか、そういう問題が生じないような、単なる配布じゃなくて、対策の関係機関とのコミュニケーションを図ったかどうか、それをあわせて伺いたいと思います。

次に、57ページでございますが、母子福祉費の中で不妊治療助成費というのがありますが、164万円、この事業内容、どういうことをやっているのか、今年度はどのぐらいを見込んでこれを予算づけしたのか説明をお願いしたいと思います。

82ページ、学校施設等長寿命化計画策定事業費というのが180万円載っていますが、これはどのような検討をされて、いつまでにこの計画を策定するのか、策定した後はこれをどう活用するのか説明をいただければと思います。

89ページ、社会教育総務費の中で、地域活動推進事業費60万円、花づくり推進費というのが16万5,000円、花づくり推進費というのは、恐らくそれぞれの地域の団体、特に高齢者を中心として特定の花壇に花をつくって、コンテストか何かをやって、それを顕彰することなのかどうか、その辺がわかりませんでしたので、説明をお願いできればと思います。

次に、予算概要について質問したいと思います。

同僚議員のほうでやったかもしれませんが、1ページ、新生児聴覚検査助成事業費64万円というのがあるんですけども、具体的には何名ぐらいの対象にこれを、新規でございますので、どのようなことでこの事業を進めるのか、私も、これは前に質問をお願いしていたものでございますが、実施内容について説明をお願いします。

それで、3ページの中ほどでございますが、転入若者夫婦世帯家賃応援補助事業379万5,000円、そして、その下には子育て世帯応援・I・J・U促進住宅取得奨励事業費1,400万円とあるんですけども、上のほうは、転入した若い世帯の家賃を応援する、下のほうは、住宅を取得した者について奨励金を出すということなんですけど、Iというのは、Iターンで都会からここへやって来た、Uは、ここから都会へ行ったんですけども、またここへ帰って

きた、Jは、出身はここではないけども、帰ってきてここに来た、こういうのがI J Uではないかと私は思ったんだけど、この事業の取り組み方について説明をお願いいたします。

○議長（沼田邦彦） 水上健康福祉課長。

○健康福祉課長（水上和明） それでは、まず、最初の質問、全体的な高齢者の居場所づくりということでお答えしたいと思います。

まず、高齢者を地域で支えることにより、安心した高齢期を迎えるための地域づくりということで、ふれあいの里事業等を展開してございます。今年度は1カ所おかげさまでふえまして、今のところ14カ所ということで活動しています。また、閉じこもりや認知症予防ということで、いきいきサロン事業も開催したり、男性に限定して男の遊々クラブを実施したり、また健康長寿セミナーということで、健康マージャン、シャッフルボード、スポーツ吹き矢、ふまねっと運動とか、そういった事業を各種展開しているところでございます。

今後も高齢者の居場所づくりにいろいろなアイデアを出しながら取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、自立相談支援事業、この内容ということでございますが、これは主に就労に対する支援を行う業務でございまして、生活困窮状態にある者への情報提供や助言を行い、自立を促進するものでございます。今年度は、今のところおおむね15件程度の相談があったところでございます。

次に、住居確保給付費ということでございますが、これは失業等により住まいを喪失するおそれのある人へ休職活動中支給される住宅給付費ということになります。生活保護の基準と同額の家賃を3カ月分給付するものでございまして、今年度におきましては、今のところ給付の実績はございません。

続きまして、家族介護支援対策費の内容ということでございますが、これは6カ月以上継続して寝たきり度Cまたは認知度Ⅲ以上にある高齢者と市に住所を有して同居し、日常生活の介護に当たっている者へ月4,000円の介護手当を支給するものでございまして、令和2年度は今のところ18名を予定しているところでございます。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 子育て支援短期利用委託費、これの短期というものはどういうものかということなんですが、事業の内容としましては、保護者が疾病等の状況により児童の養育ができない場合、一時的に児童養護施設等で養育を行う事業ということで、原則7日以内となっております。ただし、市長が必要と認めれば延長も可能ということとなっております。

次に、児童虐待防止対策費、こちらは、リーフレットを作成して情報交換会をしているかと

ということなのですが、リーフレットを作成しております、情報交換会は何を想定しているかわからないんですが、要対協であれば、虐待だったりというのは、学校関係とかが集まって会議をしているので、それによろしければ出るということになります。

あと、不妊治療助成費、こちらの内容と、見込みということなのですが、内容につきましては、不妊治療は保険適用外の不妊治療費ということで、人工授精であったり、体外受精、あと顕微授精、それらの助成となります。治療費の2分の1を、県の助成額を引いた後、1年間当たり20万円を限度額として、通年5年まで助成することができます。

あと、見込みとしましては、令和元年度の今現在は14件で150万4,600円を支出しておりますが、令和2年度につきましては15件見込んでおります。

あと、新生児聴覚検査助成事業費の該当人数なのですが、128名を予定しております。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 皆川市民課長。

○市民課長（皆川康代） 旅券の交付件数についてお答えいたします。

令和元年度につきましては、まだ集計が済んでおりませんので、前年度の実績についてお答えさせていただきます。平成30年度は487件、平成29年度については、441件でございました。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 澤村税務課長。

○税務課長（澤村誠一） 市税徴収事業費の御質問がございました。

市税徴収事業費の内容につきましては、市税の収納及び徴収に関する経費及び収納管理費でございますが、督促状、催告書等に要する経費や口座振替、コンビニ納付等に関する経費でございます。さらに新年度におきましては、徴収嘱託職員の配置を行わず、担当職員において法律に基づいた事務を進めてまいりたいと考えております。法律に基づく徴収のため、差し押さえに向けた財産調査等を行ってございますが、議員御指摘のとおり打撃を与えるような事務は行っておらず、通知の送付などにより手順を追って事務を進めております。相談を含めまして、コミュニケーションをとりつつ事務を進めておりますので、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

続きまして、固定資産税課税客體整備事業費でございますが、前年度予算額に比較しまして26万8,000円増の799万9,000円を予算として見込んでございます。内容につきましては、土地の3年に1度の評価替えにかかる評価額算定事務経費や家屋評価事務委託にかかる経費などでございます。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） 神野学校教育課長。

○学校教育課長（神野久志） 私からは、予算書82ページの学校施設等長寿命化計画の関係についてお答えします。

こちらにつきましては、令和元年度に小学校、それから中学校の計7校プラス学校給食センターの建物等について、一定の面積以上のものなのですが、こちらについての老朽化の状況把握とか全体把握、それから今後の維持管理とか、更新する際のコスト等の部分について業者委託で調査を取りまとめたところですよ。令和2年度につきましては、これらをもとに、今後の整備計画の方針とか、そういったものを策定するというので、完成は令和2年度内ということ、こちら業者委託ということを進める予定でございます。

なお、この活用方法といいますのは、この計画をつくらないと、今後学校関係の整備関係の補助を受けられないという制約があるものですから、進めるものでございます。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 予算書89ページの地域活動推進事業費でございます。

昨年と同額の60万円の計上でございますが、地域ふれあい活動事業補助金として、地域のコミュニティの自主的な活動に対して1団体3万円ということで、20団体の予算での60万円の予算計上でございます。ちなみに今年度は、17団体の51万円を支出する予定で今進めております。内容は御存じかと思いますが、地元で自治会において例えば交通安全教室とか、いろんな地域の行事を対象といたしております。

次の花づくり推進費16万5,000円でございますが、花いっぱい運動事業として、1年を通して活動している団体へ交付いたします。要件は、花壇1アール当たり5,000円ということで、1万5,000円を上限としております。予算は18団体を見込んでおります。ちなみに今年度が13団体という状況でございます。

○議長（沼田邦彦） 佐藤まちづくり課長。

○まちづくり課長（佐藤博樹） 予算概要書3ページ、子育て世帯応援移住促進住宅取得奨励事業費1,400万円でございます。IJUの意味につきましては、平塚議員がおっしゃるようなとおりの意味でございます。あえて、この文字を移住促進というような言い方にしまして、促進を図っているところでございます。内容につきましては、49歳以下の若者たちが、中古住宅、新築住宅を取得したときに10万円の基本助成があります。そこに子育て世帯であれば15万円上乗せ、さらに転入者であれば15万円上乗せ、マックスですと、40万円が交付される事業となっております。おおむね基本助成金は50件程度を見込んでおります。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 17番平塚英教議員。

○17番（平塚英教） 大体わかったんですが、最初の質問のタクシー券を使えないでいるのを利用できる方法が、ほかに何とか救える方法はないかという件なんです、私に言って来た人は、市でマイクロバスとか福祉バスで市内とか市外のどこかお年寄りを連れてぐるっと回れるような方法で利用できないかと言われたんですが、そういうのもあるだろうし、タクシー券ですから、烏山線は乗れないよね。何かいい方法を考えてください。

それと児童虐待、これについては児童相談所があって、あとは教育委員会もあるだろうし、いろんな社会福祉団体もあると思うんですが、そして学校、保護者、保育所も含めてですけど、さまざまな関係団体が連携して、健やかな子供が育つような対応をしていただきたいというのが質問の眼目でございますが、実際にそのような関係機関というか、団体というか、関係者で、本市においては、そういうことが発生しないような会議とか、勉強会とか、やったか、やらないか、それだけをお聞きしたいと、こういうことでございます。

それと、質問にはなかったんですが、項目では出しておきましたが、文化財調査費の中で烏山城の関係ですけど、これから報告書作成だと言うんですが、地権者の同意がまず基本だと思うんですが、国史跡の指定を何年に向けて進めていくという今のところ眼目なのか、説明をお願いします。

最後に、これも質問には出さなかったんですが、旧境小学校の敷地・建物の売却を今進めていらっしゃると思うんですが、もし差し支えない範囲で今の進行状況がわかれば、説明をお願いします。

○議長（沼田邦彦） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 児童虐待防止対策の中では、今回は県北児童相談所の所長に来ていただきまして、関係者等を交えまして、連絡体制であったり、どういった場合に児相まで送るか、または市だけで対応するかの講話というか、そういったものを、公的ではないんですが、行いました。

以上です。

○議長（沼田邦彦） 菊池生涯学習課長。

○生涯学習課長（菊池義夫） 烏山城跡の国指定の今準備、スケジュールでございますが、令和4年度を目標にしています。

○議長（沼田邦彦） 福田総務課長。

○総務課長（福田 守） 旧境小については、鑑定費用を予算計上しておりますので、そちらが出てからになります。（「それと、タクシー券の余り」の声あり）それとあとタクシー券、これは趣旨は、免許返納の促進ということの趣旨なものですから、そういった高齢者福祉、その観点には入るかもしれませんが、一応そういうことで、2年間の有効期間ということで、

使い切れない方がいらっしやると思います。免許返納のときには、今現在ではタクシー券と、あと市営バス、その1万5,000円どちらかとか、両方併用とかというのができますので、今のところそちらを利用していただくことと、あとは烏山線の回数券とかもございますので、そちらはこれから検討してまいりたいと考えております。

○17番（平塚英教） ありがとうございます。

○議長（沼田邦彦） ここで先ほど12番渋井由放議員の質疑に対し答弁漏れがございましたので、税務課長から追加答弁があります。

澤村税務課長。

○税務課長（澤村誠一） 先ほど渋井議員からの荒川体育館の固定資産税の評価額につきまして、答弁漏れがありましたので、お答えいたします。

荒川体育館につきましては、公共施設ということでございまして、課税対象となっておらず、建物の評価を行っていない状況でございます。

以上です。（「確認だけしていいですか」の声あり）

○議長（沼田邦彦） 休憩いたします。

休憩 午後 4時22分

再開 午後 4時24分

○議長（沼田邦彦） 再開いたします。

ここで、2月26日の15番中山議員の一般質問に対し答弁漏れがございましたので、学校教育課長から追加答弁があります。

神野学校教育課長。

○学校教育課長（神野久志） それでは、大変遅くなって申しわけありませんでした。

2月26日の中山議員から御質問いただいた給食の関係で、残食率、それから地産地消で地元の食材を使っている率、体力テストの点数ということで3点ありましたが、まず最初に、残食率につきましては、令和元年度の分ということで、4月から2月ということでの集計でございますけれど、3種類の汁物とか、そういうものを含めてのトータルの率で申し上げますと、18.2%でございます。

なお、金額については、積算の設定根拠がなかなか難しいということで、御容赦いただきたいと思っております。

次に、地元産の率につきましては、こちらは野菜とかの量というより、購入している金額ということで比較させていただきました。地元ということで、直売所とか、例えばJAさんから購入するみそとか米類ということで、集計した金額で申しますと、金額の比較ですと14%程

度ということでございます。これは、実際に米の金額が大きいところかなということであり
ます。

最後に、全国体力テストの点数について申し上げます。

80点満点で何点なのかということで、まず、小学生の男子が52.36点です。続いて、
小学生の女子52.55点、次が中学生男子です。38.29点、中学生女子47.68点。

以上でございます。

○議長（沼田邦彦） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（沼田邦彦） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を
打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（沼田邦彦） 異議なしと認めます。よって、これで質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただいま上程中の議案第1号から議案第8号までの令和2年度当初予算については、所管の
常任委員会に付託したいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（沼田邦彦） 異議なしと認めます。よって、議案第1号から議案第8号までの令和
2年度那須烏山市一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、熊田診療所特別会計予算、後期
高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算、下水道事
業特別会計予算、水道事業会計予算の8議案については、それぞれ所管の常任委員会に付託い
たします。

○議長（沼田邦彦） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。次の本会議は、3月
11日水曜日午後10時に開きます。本日は、これで散会いたします。大変お疲れさまでござ
いました。

〔午後 4時28分散会〕